2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109A	総合ゼミナール(江良友子) Seminar (Library and Librarian)	江良　友子			2	必修	2通年

科目の概要

図書館の授業で学んできた図書館サービスを実践的に理解するために、本学図書館を主要なフィールドとして図書館の「館内展示」と校内掲示板の「掲示」の制作、『図書館だより』の発行を行う。また、受講者の興味に応じて読書会やビブリオバトル、図書館見学会などを行う。（基礎知識の獲得・活用・応用）
受講生による自主的な運営と共同作業を基本とすることで、建学の精神を踏襲するとともに社会人基礎力を育成し、図書館司書の仕事に必要な課題解決能力を身につける。
（ディプロマポリシー①・②・③・④・⑤・⑥に相当する）

学修内容	到達目標
① 館内展示の計画・作成の方法を学び、制作を行う。 ② 掲示板の計画・作成の方法を学び、制作を行う。 ③ 図書館だよりの計画・作成の方法を学び、制作を行う。 ④ 司書資格取得科目で学んだ読み聞かせや選書の技術を使ったコミュニケーションを実施する（自主企画）。 ⑤ 図書館で学んだことを活かして、大学・社会への貢献を行う。	① 貸出に繋がる館内展示を考え、制作することができる 。（ディプロマポリシー②） ② 図書館と本の魅力をアピールする掲示を考え、制作ことができる。（ディプロマポリシー②） ③ 図書館だよりを通じて大学図書館をアピールすることができる。（ディプロマポリシー②） ④ 本学・他大学の学生や図書館職員、地域の人々と交流するための企画立案・製作・参加ができる 。（ディプロマポリシー③・⑤） ⑤ 大学と社会貢献に繋がる活動に参加することができる。（ディプロマポリシー①・④・⑥）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	現在のゼミ活動の中で何をするべきか見極め、自発的に作業に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	更に良い作品にするにはどうしたらよいかを考え、過程を大切にしながら制作に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	常に周りに声かけをし、正確な作業を把握しながら作品制作ができる。
	計画力	
	創造力	図書館利用者を意識した、図書館だより、館内展示、掲示の企画・制作ができる。
チームで働く力	発信力	本や紙芝居など資料をハブとしたコミュニケーションを本学・他大学の学生、図書館員や地域住民と取ることができる。
	傾聴力	自分と異なる意見を持つ他者の話にも耳を傾けることができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻・無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：必要に応じて参考資料等を配布する。
参考文献：必要に応じて配布する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：図書館に関する全ての科目
資格との関連：図書館司書

学修上の助言	受講生とのルール
司書として現場で仕事をするために必要なことを実践的に学習する。 受け身ではなく、積極的に発言・行動すること。 図書館だけでなく、展示・掲示制作で参考となる博物館などへ自ら足を運び、学習することが望ましい。	無断欠席はしない。必ず連絡・報告する。 話し合いで決定した事項は、全員で協力して行うこと。 携帯電話の電源は切り、カバンに入れておくこと。 自主企画や図書館見学に要する費用は自己負担とする。 授業時間以外の時間、土日や休暇期間を使って作品制作・行事への参加をする場合がある。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			（発表）30点 ・作品（館内展示・掲示・図書館だより）について解説することができる（基礎知識の習得・活用）。 ・他者の発表に対して質問や感想を述べることができる（基礎知識の応用）。 ・自分たちが培ってきた社会人基礎力を活かして発表するための資料作り・発表準備・プレゼンテーションができる（基礎知識の習得・活用）。 （制作物）30点 ・館内展示（タイトルボード、各本の紹介、季節に合わせた飾りつけなど）、図書館入り口のカフェボード（基礎知識の習得・活用・応用） ・大学玄関口掲示（図書館への案内、本の紹介など）（基礎知識の習得・活用・応用） ・図書館だより（企画・レイアウト・校正など）（基礎知識の習得・活用・応用） （その他）30点 ・ゼミとして参加する学校・地域の行事やイベントの準備・参加ができる（15点） ・自主企画立案・準備・実行がもれなくできる（15点）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性） ・自主企画の企画内容・実行状況・反省の取り組み姿勢を評価する。 （実行力） ・担当となった展示・掲示・図書館だよりの取り組み姿勢を評価する。 （課題発見力） ・各作業について周りの状況を確認しながら進めることができているかを評価する。 （創造力） ・図書館利用者の実態に合った作品を考え、創作することができているかを評価する。 （発信力） ・紙芝居・読み聞かせ、プレゼンテーションなど、人前で発表する姿勢を評価する。 （傾聴力） ・自分と異なる意見にも耳を傾け、それを踏まえた提案をすることができているかを評価する。 （規律性） ・遅刻・無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 ・欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
Ｓ（秀）評価 ゼミの授業時間以外で参加・発表の場が与えられた時は、積極的に参加し、発表することができる。 割り当てられた作品が、期日までに制作でき、図書館利用推進に繋がるものに仕上げることができる。 学校内外の行事・イベントに意欲をもって臨み、参加することができる。 社会人基礎力にある学修態度が9割以上達成できている。 Ａ（優）評価 ゼミの授業時間以外で参加・発表の場が与えられた場合には参加し、発表することができる。 割り当てられた作品が、期日までに制作でき、図書館利用に繋がるものになるよう努力できている。 学校内外の行事・イベントに臨み、参加することができる。 社会人基礎力にある学修態度が8割以上達成できている。	Ｂ（良）評価 ゼミの授業時間以外に参加・発表の場が与えられた場合には参加・発表するよう努力している。 割り当てられた作品が、期日までに制作できている。 学校内外の行事・イベントに参加できている。 社会人基礎力にある学修態度が7割以上達成できている。 Ｃ（可）評価 ゼミの授業時間以外で参加・発表の場が与えられた場合には、参加できている。 割り当てられた作品を期日までに制作するよう努力している。 学校内外の行事・イベントに臨み、参加することが難しかった。 社会人基礎力にある学修態度が６割以上達成できている。 或いは、達成には至らないが努力できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 授業の進め方説明と年間計画の検討を行う	講義 話し合い PC・タブレットを使用した調査を含む	授業の趣旨を理解し、年間計画に自分の意見を反映させることができる。	（第１回予習） 自主企画の案を考えて図案化する。 （復習） 自主企画の見直しを行う。 （予習） 展示企画を考える。	45	主体性 傾聴力 規律性
2～5	館内展示　1 図書館内の展示企画と作成、参考となる図書館見学を行う （基礎知識の獲得・活用・応用）	演習（作成） 図書館見学（予定） 作成物の講評（フィードバック） PC・タブレットを使用した調査を含む	館内展示 （5～8月分）の企画・作成、展示作業を行うことができる。	（各回予習） 魅力的な展示・掲示にするために必要なことを考え、発表できるようにまとめる。 （各回復習） 展示の企画・作成・展示作業の振り返りをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6～9	掲示　1 掲示板を有効に使う方法を学習し、掲示作成を行う （基礎知識の活用・応用）	演習（作成） 作成物の講評（フィードバック） PC・タブレットを使用した調査を含む	掲示 （5～9月分）の企画・作成、掲示作業を行うことができる。	（各回予習） 月替わり展示・掲示制作作業 ・季節 ・色使い ・レイアウト を考える。 （各回復習） 展示の企画・作成・展示作業の振り返りをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10・11	自主企画　1 （基礎知識の活用・応用）	話し合い 演習又は実習、見学 PC・タブレットを使用した調査を含む	自主企画案を出すことができる。 決定した内容に沿って作業に参加できる（制作物の場合は完成させることができる）。	（各回予習） 第１回授業で決定した自主企画準備 ・日程 ・材料 ・道具 （各回復習） 自主企画の振り返りをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12・13・15	図書館だより　1 図書館だよりの企画と制作を行う （基礎知識の獲得・活用・応用） ①紙面の作り方 ②アンケートの実施方法 ③インタビューの仕方 ④本の紹介 ⑤読者層に合わせた記事の書き方	図書館だより　秋号 演習（作成） 作成物の講評（フィードバック） PC・タブレットを使用した調査を含む	図書館だよりの企画・制作、発行ができる。	（各回予習） 図書館だより企画・作成準備 ・レイアウトの参考となる資料 ・インタビュー ・紹介する本 （各回復習） 図書館だより制作の振り返りをする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
14	前期の反省会 後期の計画 （基礎知識の活用・応用）	オンデマンド授業 14週分の授業で作成・実施した内容について講評する	前期に作成した作品の振り返り、課題検討ができる。 後期分自主企画の計画案を立てることができる。	（予習） これまで作成した作品を振り返り、課題をあげることができる。 前期の反省を踏まえ、後期の自主企画案を考えることができる。 ☆出席課題 前期の反省と課題、後期の自主企画を書いてグーグルクラスルームで提出をする。 （復習） 前期ゼミ活動の反省を後期の活動にどのように活かすか500字程度でまとめる。	90	主体性 発信力 傾聴力 規律性
16～19	館内展示　2 図書館内の展示企画と作成を行う （基礎知識の活用・応用）	話し合い 演習（作成） 作成物の講評（フィードバック） PC・タブレットを使用した調査を含む	第１回館内展示作成時の反省点をふまえて、（10～4月分）の展示の企画・制作・展示活動ができる。	（予習） 展示案をひと月毎１案以上考え、企画書を作成する。 （復習・課題） 作品制作	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
20～24	掲示　2 大学玄関左手の掲示企画と作成を行う （基礎知識の活用・応用）	話し合い 演習（作成） 作成物の講評（フィードバック） PC・タブレットを使用した調査を含む	第１回掲示作成時の反省点をふまえて、（10～4月分）の掲示の企画・制作・展示活動ができる。	（各回予習） 掲示案をひと月毎１案以上考え、企画書を作成する。 （復習・課題） 作品制作	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
25・26	図書館だより　2 図書館だよりの企画と制作を行う （基礎知識の活用・応用） ①紙面の作り方 ②アンケートの実施方法 ③インタビューの仕方 ④本の紹介 ⑤読者層に合わせた記事の書き方	図書館だより　春号 演習（作成） 作成物の講評（フィードバック） PC・タブレットを使用した調査を含む	図書館だよりの企画・制作、発行ができる。	（各回予習） 図書館だより企画・作成準備 ・レイアウトの参考となる資料 ・インタビュー ・紹介する本 （復習・課題） 図書館だより制作	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
27・28・30	学科ゼミ発表準備 ゼミ発表に向けて発表準備を行う （基礎知識の活用・応用）	話し合い 役割分担 プレゼンテーション PC・タブレットを使用した調査を含む	割当たった役割を理解し、各自が最大限努力できる。	（各回予習） 発表テーマを考えて臨む。 役割に応じて： ・発表用シナリオを作成する。 ・発表用ＰＰを作成する。 （各回復習） 更に良い発表となるよう、シナリオチェック、振り返りを行う。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
29	後期・年間振り返り これまで学んだことを今後の生活にどのように活かしていくか	オンデマンド授業 後期・1年間の作成物と活動の講評	後期に作成した作品の振り返り、課題検討ができる。 来年度ゼミ生への引継ぎ事項検討。	（予習） 作成した作品を振り返り、課題をあげることができる。 後期の反省を踏まえ、来年度ゼミ生へ引継ぎ事項を書き出す。 ☆出席課題 後期の反省と課題、1年間の反省と課題、社会人として仕事をするための反省・課題の活かし方を書いてグーグルクラスルームで提出をする。	45	主体性 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109B	総合ゼミナール(大森有希乃) Seminar (Food and nutrition)	大森有希乃			2	必修	2通年

科目の概要

人間は生きるための栄養を食事から摂る。「食べること」は単に栄養を摂取することだけでなく、健康を維持したり、おいしく食べることで心の豊かさを育て、また共に食べることにより社会性を育んでいく(ディプロマポリシー①)。「食べることは生きること」であり、食をおいしさ、文化、栄養、安全性など様々な面から考え、食の大切さを理解することは、社会人としての基礎をつくることでもある（ディプロマポリシー①②③④⑥）。これまで獲得してきた知識を活用し、レシピコンテスト、学祭、地域貢献活動などに合わせた献立やレシピを作成し、実際に調理を行って、実践力を身につけていく（ディプロマポリシー④）。そして、常に「真心・努力・奉仕・感謝」の建学の精神を大切にしながらゼミ活動を行うことによって、pisa型学力の修得とともに健康な体と健全な精神を修得することを目指していく（ディプロマポリシー①②③④⑥)。 また、フードスペシャリスト資格を目指す学生には、ゼミの各テーマが受験科目の復習となるよう配慮し、資格取得を目標とする（ディプロマポリシー⑥）。

学修内容	到達目標
① 食に関する活動（学祭、地域貢献活動 など）を通じて、 おいしさ、栄養、安全、ビジネスなど食を多面的に考え、食のイベントの企画 運営ができる実践力を養う。 ② 食品ロスの削減と有効活用について考え、環境にやさしい調理を提案する。 ③ 食物アレルギーについて、基本知識を理解する。 ④ 食に関するコンテストに応募し、コンテストの趣旨にあったレシピを作成する。 ⑤ フードスペシャリスト資格試験に挑戦する。	① 食に関する活動に積極的に参加し、必要な情報を収集してイベントの計画を立て、実践できる（ディプロマポリシー①②③④⑥）。 ② 食品ロスの削減について理解し、食品を余すことなく活用したレシピを提案し、環境問題への取り組みを実践できる。（ディプロマポリシー②③④⑥) ③ 食物アレルギーの特徴を理解し、食物アレルギーの課題解決のレシピを提案することができる。（ディプロマポリシー①②③④⑥) ④ 食の問題を見出し、課題解決のレシピを作成し、コンテストに応募することができる。（ディプロマポリシー①②③④⑥) ⑤ フードスペシャリスト資格を取得する 。（ディプロマポリシー⑥)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	指示を待つのではなく、シラバスの予習・復習を読み、やるべきことを考えて次の準備や行動を起こす。
	働きかけ力	自分では解決できないことがあった時は、そのままにせずにゼミの仲間や先生に相談する。
	実行力	ゼミの活動や資格試験合格に向け、粘り強く取り組み、目標を達成する。
考え抜く力	課題発見力	ゼミ活動の目標達成のために、自分の課題を考えて行動する。
	計画力	イベント参加や資格試験合格に向け、目標と目的を明確にして計画を立て、実行する。
	創造力	一つの知識からだけではなく、いろいろな知識を組み合わせてアイデアを考える。
チームで働く力	発信力	相手の目（顔）を見て話し、相手が自分の話を正しく理解しているかの反応をみて、相手に分かりやすく伝える力を身につける。
	傾聴力	話を聞く時は、うなずきやあいづちをし、大事なことはメモをとりながら聞く。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えも理解しようと努め、よりよい方向に向かって譲歩しながらゼミ活動を進める。
	情況把握力	仲間の行動を見ながら、自分のやるべき役割を考えて行動する。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	ストレスを乗り越えれば次は楽になるという前向きな気持ちを持ち、ゼミの仲間や先生に相談したりして取り組むようにする。

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。必要に応じて、資料を配布する。
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ゼミ選択時においてフードクリエイティブ、フードスペシャリスト関連科目を受講していることが望ましい。
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
・日頃から自分や家族の食事に関心を持ち、健康的な食生活を送るよう努力して欲しい。 ・料理をする機会を多く持ち、知識と技術を習得し、レシピコンテストに積極的に参加する。 ・食に関する情報に関心を持って欲しい。	・調理実習を行う時は、準備・後片付けの時間も必要となるため、ゼミの時間を延長することもある。 ・授業に必要な費用についてはオリエンテーションで提示する。 ・調理実習時は、身だしなみ（白衣、三角巾着用、爪を切る、アクセサリー、ネイルはつけないなど）に注意する。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	40	①	✓			・ゼミで取り組んだテーマについてまとめ、レポートにして提出する。 （取り組んだ内容、結果、感想（社会人基礎力を含む）についてまとめる。） ・レポートはGoogleclassroomで提出する。提出期日は厳守する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①				・レシピコンテストに参加し、レシピを作成する。 ・成人女性のバランスのよい献立を考え、レシピを作成する。 ・ゼミ活動で作成したレシピをまとめてレシピ集を作る。 ・ゼミ活動をまとめ、その成果を発表する。 （これまでに獲得した知識を活用し、食に関する問題点を見出す。問題点を解決し、生涯における食事がより良いものに改善できるレシピを提案する。）
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤				
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）予習・復習をし、ゼミ活動が円滑に行えるように準備することができる。 （働きかけ力）わからないことがあった時、周囲に質問や相談ができる。 （実行力）自分が立てた目標に対して粘り強く取り組んでいる。 （課題発見力）ゼミ活動がスムーズに行えるよう絶えず課題を考えて行動している。 （計画力）目標に向けて計画を立て実行する。 （創造力）ゼミ活動のいろいろなテーマに対して１つ以上のアイデアを出すことができる。 （発信力）相手がわかるように話をすることができる。 （傾聴力）話を聞く時はメモをとりながら聞くことができる。 （柔軟性）人の意見を最後まで聞き、理解しようと努力できる。 （情況把握力）仲間の行動を見ながら自分の立場や役割を考えて行動できる。 （規律性）遅刻、無断欠席をなど学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローアップ課題を行う。 （ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力）ストレスを抱え込まず、周りの人に相談できる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①時間割に充てられた以外にも積極的にゼミ活動を行うことができる。②ゼミ活動で取り上げるテーマについて事前に調べ、 グループ討議では、自分の意見を積極的に発表し、意見をまとめることができる。③レシピ集の制作に積極的に参加し、 表紙やあとがきなどを分担し、よりよい作品に仕上げるよう努力できる。④ フードスペシャリスト試験に合格したり、レシピコンテストに参加して入賞するなど、積極的にゼミ活動を行う。 S（秀）＝①＋②＋③または④、A（優）＝①＋②	①時間割に充てられた以外にも積極的にゼミ活動を行うことができる。② ゼミ活動で取り上げるテーマについて 事前に調べ、グループ討議では、自分の意見を発表することができる。③レシピ集の制作に参加し、よりよい作品に仕上げるよう努力できる。 B（良）＝①＋②＋③、C（可）＝①＋②

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方について ・ゼミの運営方法について	講義 グループ討議 グループ討議後、口頭にてフィードバックする。	ゼミの方針を理解できる。 今年度のゼミとしての活動目標・内容を検討し、役割分担をする。	（復習）ゼミでの目標をまとめる。食の問題点を見つけてまとめる。（パソコンを使用し、Googleclassroomで提出する）	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
2	郷土料理の継承 ・愛知県の郷土料理についての特徴を学ぶ ・グループに分かれ、テーマを決めて調査や情報収集をする ・愛知県の食品・食材はどのようなものか学ぶ	講義 グループ討議 パソコンを利用し、プレゼンテーションする。 グループ討議後、口頭にてフィードバックする。	愛知県の食材、郷土料理について図書館で調べることができる。 愛知県の郷土料理のレシピを提案できる。	（復習）愛知県の郷土料理のレシピパソコンを使用し、レシピを作成する。	90	主体性 実行力 計画力 創造力 傾聴力 規律性
3、4	郷土料理の継承 ・調べた愛知県の郷土料理のレシピを作成し、調理し、郷土料理について学ぶ	実習（グループ） グループで作業の分担、手順を決めて実習が迅速、丁寧に行えるようにする。 実習内容についてグループでの取り組みや感想を発表する。（グループで1人） 発表後、口頭でフィードバックする。	愛知県の郷土料理のレシピを作成し、グループで調理することができる。	（復習）実習献立についてまとめる （Googleclassroomパソコン使用） （予習）実習の準備を整える	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 情況把握力 規律性
5	食品成分表の見方と取り扱い方を学ぶ 料理のエネルギー、塩分の算出について学ぶ 健康的な食事はどのようなものか学ぶ	講義 演習 レシピの栄養価計算を点検し、フィードバックする。	食品成分表の使用方法を理解し、献立のエネルギー、塩分量を算出することが出来る。 健康的な食事について理解できる。	（復習）健康的な食事についてまとめる。 （Googleclassroomでレポート提出あり） （予習）郷土料理を現代風にアレンジしたレシピをパソコンで作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6	郷土料理の継承 ・講義、グループワークで獲得した知識を活用し、愛知県の郷土料理を現在風にアレンジしたレシピを作成する ・健康的な食事を理解し、アレンジした郷土料理をバランスの良い一食の献立に展開する	グループワーク グループ討議 パソコンを使用し、レシピを作成する。 レシピコンテストでの入賞をめざして積極的に意見を言う。 口頭でフィードバックする。	愛知県の郷土料理を現在風にアレンジしたレシピを作成できる。 健康的な食事を理解し、主食、主菜、副菜のそろった献立を提案できる。	（復習）レシピを修正する。 （予習）実習の準備を整える。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 柔軟性 情況把握力 規律性
7~9	郷土料理の継承 タニタご飯コンテストの応募料理を調理する（現代風にアレンジしたレシピを調理し、郷土料理の新たな魅力を創造する）	実習（グループ） レシピ、料理を点検し、フィードバックする。	愛知県の郷土料理のアレンジレシピを作成し、グループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。	（予習）材料を準備する。 （復習）決定したレシピを見直し、パソコンで修正する。	270	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
10	郷土料理の継承 タニタご飯コンテストの応募書類の作成する（現代の食の問題を解決するポイントについてまとめる）	演習 グループワーク 栄養価の計算（パソコン使用） レシピのプレゼンテーション（パソコンを使用）	タニタご飯コンテストの応募用紙を作成し、コンテストに応募することが出来る。	（復習）郷土料理を継承していくために出来ることをまとめる。 （レポート提出有り） （予習）高齢者の食事、かむことの意味を調べてまとめる。 （Googleclassroomで提出）	90	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 柔軟性 規律性
11	生涯おいしく楽しく食べることの意味 ・歯や口が健康であるための食事について学ぶ ・高齢者の特徴を学び、口から食べることの必要性を認識する。	演習 グループワーク レシピ作成（パソコン使用） プレゼンテーション（パソコン使用） グループワークでプレゼンテーションしたレシピを点検し、フィードバックする。	高齢者の特徴を理解し、高齢者がよく噛んで食べることができるレシピを作成することができる。	（復習）レシピを作成する（パソコン使用）。 （予習）材料を準備する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
12、13	生涯おいしく楽しく食べることの意味 ・高齢者がよく噛んで食べることが出来るレシピを立案し、調理する （講義で獲得した知識を活用し、高齢者の食も問題点を見出し、よく噛んで食べることができる料理を調理し、高齢者の食も問題を解決する。）	実習（グループ） グループ討議後、口頭でフィードバックする。	自分たちで考えたレシピをグループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。	（復習）レシピを修正する（パソコン使用）。 （予習）食物アレルギーについて調べてまとめる。 （Googleclassroomで提出）	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 情況把握力 規律性
14	食物アレルギーについて、アレルギーのメカニズムを学ぶ食物アレルギーの代替食について学ぶ。 三大アレルゲンを除去したレシピを作成する （講義で獲得した知識を活用し、食物アレルギーの食事の問題点を見出し、食物アレルギーがあってもおいしく食べることができるレシピを作成する）	オンデマンドによる講義 レシピ作成（パソコン使用） 作成したレシピを点検し、フィードバックする。	食物アレルギー食のレシピを完成することができる。 食物アレルギーについて、その特徴と留意点、食事について理解できる。	（復習）レシピを作成、修正する。（パソコン使用）	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
15	歯ッツピーレシピコンテストに応募する 前期のまとめ	演習 レシピ作成（パソコン使用） 作成した応募用紙を点検し、フィードバックする	歯ッツピーレシピコンテストに応募できる。 前期のゼミ活動の反省から課題を見出し、後期ゼミ活動への提案ができる。	（復習）噛むことの意味をまとめる。 （Googleclassroomで提出）前期を終えて、ゼミ活動の学びを振り返る。（Googleclassroomで提出） （予習）調理実習の準備	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 規律性
16、17	食物アレルギー食（三大アレルゲン除去食）の調理	実習（グループ） グループ討議 作成したレシピを点検しフィードバックする。	自分たちで考えたレシピをグループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。	（復習）レシピを作成し、修正する。（パソコン使用）	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 情況把握力 規律性
18	食物アレルギーについて 食物アレルギーレシピコンテストに応募する 三大アレルゲンを除去したレシピのポイントをまとめる	演習 グループワーク プレゼンテーション （パソコン使用） 応募用紙を点検し、フィードバックする。	食物アレルギーレシピコンテストに応募できる 食物アレルギーのレシピが作成できる。	（復習）食物アレルギーについてまとめる。 （Googleclassroomで提出） （予習）模擬店運営のために必要なことを各自考えてくる必要に応じて、材料を集めてくる。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
19、20	学泉祭への出店（1） ・学泉祭に模擬店を出店する何を提供するか、マーケティングから始め、試作を重ね、商品の開発、 試作、包装、販売方法、役割分担など検討する 模擬店の運営の計画を立てる まちづくりプロジェクトの準備	グループ活動 実習後フィードバックする	仲間と協力して、模擬店の商品をつくることができる 自分の役割を理解し、仲間と協力して模擬店を運営することができる。	（復習）検討したことをまとめる。 （Googleclassroomで提出） （予習）乳児期、離乳期、高齢期のいずれかについてその特徴と栄養について調べる。（Googleclassroomで提出）	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 柔軟性 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
21	ライフステージ別の健康と食事について学ぶ 調べてきたことを発表する	講義 発表 発表後コメントする	乳児期、離乳期、高齢期のいずれかについてその特徴と栄養について調べたことを発表できる。	復習）乳児期、離乳期、高齢期のいずれかについてその特徴と栄養についてまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
22	地産地消について 米粉の活用について	講義 グループ討議 レシピ作成（パソコン使用） プレゼンテーション （パソコン使用） プレゼンテーション後、口頭でフィードバックする。	愛知県の農畜産物を理解できる。 地産地消のレシピを作成できる。	（復習）レシピを作成、修正する。（パソコン使用） （予習）調理実習の準備	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
23、24	地産地消、米粉活用の調理実習	実習（グループ） グループ討議 作成したレシピを点検しフィードバックする。	自分たちで考えたレシピをグループで調理することができる。 自分の役割を理解して行動することができる。	（復習）レシピを作成し、修正する。（パソコン使用）	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 情況把握力 規律性
25	身近な食について考える 成人女性の1日の食事の摂り方を考え、バランスのよい食事を学ぶ	講義 グループワーク グループ討議後、口頭でフィードバックする。	成人女性の1日に必要な栄養素をバランスよく摂取できる献立を考えることができる。	（復習）レシピを完成させる。 （予習）調理実習の準備、レシピを作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
26、27	食物アレルギーについて みんな一緒のクリスマス会の企画・準備	演習 実習（グループ） グループ発表後、口頭でフィードバックする。	食物アレルギーのある子もない子も一緒に楽しむことができるクリスマス会の企画を立案することができる。	（復習）みんな一緒のクリスマス会の企画をまとめる。 （Googleclassroomで提出） （予習）年中行事と食文化を調べてまとめる。（Googleclassroomで提出）	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 規律性
28	食文化を学び、継承する 年中行事と食文化を学び、調理する	実習（グループ） グループ討議後、口頭でフィードバックする。	日本の年中行事と食文化について理解し、仲間と協力し、調理実習を行い、写真を撮ってレシピを完成させることができる。	（復習）レシピを完成させる。（パソコン使用） （予習）３０週目の調理実習のレシピを作成する。（パソコン使用）	90	主体性 実行力 計画力 情況把握力 規律性
29	ゼミ活動のまとめ レシピ集を完成させる	オンデマンドによる講義 パソコンを使用してレシピ集を作成する １年間のゼミ活動を振り返り、フィードバックする。	1年間のゼミ活動のレシピ集を完成させることができる。 ゼミ活動をまとめることができる。	（復習）レシピ集を作成する。（パソコン使用） （予習）３０週目の調理実習の準備	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
30	食文化を学び、継承する 年中行事と食文化を学び、調理する	実習（グループ） グループ討議後、口頭でフィードバックする。	日本の年中行事と食文化について理解し、仲間と協力し、調理実習を行い、写真を撮ってレシピを完成させることができる。	（復習）１年の活動を振り返ることができる。 （Googleclassroomで提出）	90	主体性 実行力 計画力 情況把握力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109L	総合ゼミナール（小野功一郎） Synthetic Seminar	小野功一郎			2	必修	2通年

科目の概要

本科目では、生活デザイン総合学科での学びを活かしたプロジェクト型学習を通じて、実践的な問題解決能力を養います。前期では特に、AIとチャットボットに関する基礎知識の習得と、自らの興味・関心に基づいたチャットボット開発プロジェクトの計画立案を中心に学びます。データ分析手法やAIの基本的な仕組みを理解し、チャットボット開発の基礎を身につけることを目指します。

学修内容	到達目標
① AI技術とチャットボットの基礎知識について理解する。 ② 対話システムの設計原則とユーザー体験について学ぶ。 ③ プロンプトエンジニアリングの基本と効果的な指示の書き方を習得する。 ④ 各種チャットボット開発プラットフォームの特徴と使用方法を学ぶ。 ⑤ ユーザーニーズの分析と要件定義の方法を理解する。 ⑥ チャットボット開発における倫理的配慮と留意点について学ぶ ⑦ データの収集・整理・活用方法について理解する。 ⑧ プロジェクト管理の基礎とタイムラインの設計方法を学ぶ。 ⑨ チャットボット開発プロジェクトの企画書を作成する ⑩ プレゼンテーション技術を習得し、企画内容を効果的に発表する。	① AIとチャットボットの基本原理と活用可能性について説明できる。 ② 効果的なプロンプトを設計し、AIに適切な指示を出すことができる。 ③ ユーザーニーズを分析し、チャットボットの要件を定義できる。 ④ チャットボット開発における倫理的課題を理解し、対応策を提案できる。 ⑤ 基本的なチャットボット開発プラットフォームを使用できる。 ⑥ データの収集・整理・活用方法を理解し、実践できる。 ⑦ 自らの関心分野に基づいたチャットボット開発プロジェクトを計画できる。 ⑧ プロジェクト管理の基礎知識を活用し、開発スケジュールを立案できる。 ⑨ チャットボット開発の企画書を作成し、その内容を論理的に説明できる。 ⑩ 効果的なプレゼンテーションを行い、自分のアイデアを他者に伝えることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自らの興味・関心に基づいたテーマを選定し、積極的に情報収集や学習を進めることができる。ゼミナール内での議論やプロジェクト活動に自発的に参加し、主体的に取り組むことができる。
	働きかけ力	グループワークにおいて、メンバーと協力し合い、それぞれの強みを活かした役割分担を提案できる。また、必要に応じて外部の専門家や関係者に適切に協力を求めることができる。
	実行力	設定した目標に向けて計画的に行動し、困難な状況においても最後まで諦めずに取り組むことができる。学んだ知識や技術を実際のプロジェクトに応用し、具体的な成果物を作り上げることができる。
考え抜く力	課題発見力	チャットボット開発において直面する問題や課題を的確に把握し、その原因を論理的に分析することができる。ユーザーニーズや社会的背景を多角的に考察し、解決すべき本質的な課題を見出すことができる。
	計画力	チャットボット開発プロジェクトの全体像を把握し、明確な目標設定とそれに基づいた具体的な行動計画を立てることができる。限られた時間と資源の中で優先順位を決め、効率的に作業を進めるための計画を策定できる。
	創造力	既存の知識や技術を組み合わせて新たな価値を創造し、独自性のあるチャットボットの企画・設計を行うことができる。様々な視点から問題解決策を考え、創意工夫を凝らした提案ができる。
チームで働く力	発信力	自分の考えや提案を論理的かつ簡潔に説明し、他者に効果的に伝えることができる。プレゼンテーションツールを活用して視覚的にも分かりやすい資料を作成し、説得力のある発表ができる。
	傾聴力	他者の意見や提案に真摯に耳を傾け、相手の考えを正確に理解することができる。異なる視点や意見を尊重し、建設的な対話を通じて相互理解を深めることができる。
	柔軟性	多様な価値観や考え方を受け入れ、状況の変化に応じて自分の考えや行動を柔軟に修正することができる。他者からのフィードバックを前向きに捉え、自分の企画や提案を改善することができる。
	情況把握力	ゼミナール内での自分の立場や役割を理解し、全体の進行状況を常に把握しながら適切な行動をとることができる。他メンバーの作業状況や課題を察知し、必要に応じてサポートすることができる。
	規律性	ゼミナールの時間や提出期限を守り、約束事や決まりごとに従って行動することができる。責任ある態度で自らの役割を果たし、チーム全体の信頼関係を構築することができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	プロジェクト進行中の困難やプレッシャーに対して、冷静に対処する方法を身につけている。ストレス状況下でも健全な判断力を保ち、適切な対応策を見出すことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：特に指定しない（適宜資料を配布する）
参考文献：
・『ChatGPT/AIチャットボット開発ガイド』（技術評論社）
・『プロンプトエンジニアリング入門』（翔泳社）
・『AIと社会』（技術評論社）
・その他、授業中に適宜紹介する

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「数理・データサイエンス・AIリテラシー」「データ解析とAI」「AIと社会」などの科目で学んだ知識を活かすことができる。
資格との関連：DS・AIパスポート資格取得の実践的な学びとなる。

学修上の助言	受講生とのルール
本ゼミナールでは、チャットボット開発に関する知識と技術を習得するだけでなく、自らの興味・関心に基づいたテーマ設定と問題解決能力の育成を重視します。日頃からAI技術やチャットボットの活用事例に関心を持ち、情報収集を行うことが大切です。また、グループワークやディスカッションに積極的に参加し、多様な視点から物事を考える習慣をつけましょう。	・授業への積極的な参加と主体的な学習姿勢を持つこと ・課題やプロジェクト活動は期限を守って取り組むこと ・グループ活動では協調性を持ち、メンバーと協力して作業を進めること ・他者の意見や考えを尊重し、建設的な議論を心がけること ・疑問点や困難な課題があれば、早めに相談・質問すること ・授業の進展具合等によりシラバスを変更する場合があります

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥		
				②		⑦		
				③		⑧		
				④		⑨		
				⑤		⑩		
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②		⑦		
				③		⑧		
				④		⑨		
				⑤		⑩		
		レポート	20	①	✓	⑥	✓	・チャットボット開発における倫理的課題についてのレポート（5点） ・ユーザーニーズ分析と要件定義に関するレポート（5点） ・開発プロジェクト計画書（10点） レポートでは、論理的思考力、分析力、問題解決力、文章表現力を評価します。特に実際の開発プロジェクトに活かせる実践的な内容であるかを重視します。
				②		⑦		
				③	✓	⑧	✓	
				④	✓	⑨	✓	
				⑤		⑩		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①		⑥		・中間プレゼンテーション（15点） 自らが設計したチャットボットの概要、目的、想定ユーザーなどについて発表 ・最終成果物（チャットボット）（40点） 開発したチャットボットの機能性、ユーザビリティ、創造性、完成度を評価 ・最終プレゼンテーション（15点） 開発プロセス、課題解決方法、成果の振り返りを効果的に発表できているか 最終成果物とプレゼンテーションでは、学んだ知識と技術を実践的に応用できているか、 創造的な解決策を提案できているか、効果的に自分のアイデアを伝えられるかを評価します
				②	✓	⑦	✓	
				③		⑧		
				④		⑨	✓	
				⑤	✓	⑩	✓	
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①		⑥		・主体性：自ら課題を設定し、積極的に取り組む姿勢（2点） ・働きかけ力：チーム内での協力、外部リソースの活用能力（2点） ・実行力：計画に沿った着実な行動力（2点） ・課題発見力・創造力：独自の視点での問題解決（2点） ・発信力・傾聴力：効果的なコミュニケーション能力（2点） 授業への参加度、グループワークでの貢献、締め切りの厳守なども含めて総合的に評価します。
				②		⑦	✓	
				③		⑧	✓	
				④	✓	⑨		
				⑤	✓	⑩	✓	
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S（秀）： ・チャットボットの基本概念と開発技術を深く理解し、独自の視点で応用できる ・創造性と論理性を兼ね備えた高品質なチャットボット企画書を作成できる ・プロジェクト管理の知識を駆使し、綿密な開発計画を立案できる ・他者に分かりやすく説得力のあるプレゼンテーションができる ・ゼミナール活動に主体的に取り組み、他の学生の模範となる姿勢を示せる A（優）： ・チャットボットの基本概念と開発技術を正確に理解し、適切に活用できる ・具体性と実現可能性を備えたチャットボット企画書を作成できる ・計画的にプロジェクトを進行し、適切な開発スケジュールを立案できる ・論理的で分かりやすいプレゼンテーションができる ・ゼミナール活動に積極的に参加し、建設的な意見やアイデアを提供できる	B（良）： ・チャットボットの基本概念と開発技術を理解し、基本的な活用ができる ・基本要件を満たしたチャットボット企画書を作成できる ・プロジェクト管理の基礎知識を用いて開発計画を立てることができる ・内容が伝わるプレゼンテーションができる ・ゼミナール活動に参加し、課題に取り組むことができる C（可）： ・チャットボットの基本的な概念を理解している ・指導のもとでチャットボット企画書を作成できる ・基本的な開発計画を立てることができる ・最低限の内容を含むプレゼンテーションができる ・ゼミナール活動に参加し、与えられた課題をこなすことができる

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション ・授業の概要と目標 ・AIとチャットボットの現状と可能性 ・自己紹介と関心分野の共有	【講義】 ・授業の進め方、評価方法の説明 ・AIとチャットボットの概要プレゼンテーション 【演習】 ・自己紹介と関心分野の共有 ・チャットボットの実例体験	AIとチャットボットの基本的な概念を理解し、自分の関心分野を他者に伝えることができる。	(予習)AIやチャットボットに関するニュースやトレンドに目を通しておく。 (復習)授業で紹介されたチャットボットを実際に試してみる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	AIとチャットボットの基本原理 ・機械学習と自然言語処理の基礎 ・大規模言語モデル（LLM）の仕組み ・チャットボット開発の歴史と進化	【講義】 ・AIの基本原理と機械学習の概要 ・自然言語処理技術の解説 ・チャットボット技術の進化の歴史 【演習】 ・簡単なAI体験ワークショップ ・グループディスカッション	AIとチャットボットの基本的な仕組みを説明でき、機械学習と自然言語処理の違いを理解している。	(予習)配布資料の「AIの基礎」の章を読んでおく。 (復習)学んだ概念を自分の言葉でまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	プロンプトエンジニアリング入門 ・効果的なプロンプトの書き方 ・指示の明確化と文脈の提供 ・制約と条件の設定方法	【講義】 ・プロンプトエンジニアリングの基本原則 ・効果的なプロンプトの構成要素 【演習】 ・様々なプロンプトの作成と試行 ・プロンプトの改善ワークショップ	基本的なプロンプト設計ができ、指示の明確さと具体性の重要性を理解している。	(予習)良いプロンプトと悪いプロンプトの例を調べておく。 (復習)学んだテクニックを使って異なる目的のプロンプトを3つ作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	チャットボット開発プラットフォーム概観 ・主要なチャットボット開発ツールの比較 ・ノーコード/ローコードプラットフォームの特徴 ・各プラットフォームの長所と短所	【講義】 ・チャットボット開発ツールの種類と特徴 ・プラットフォーム選択の基準 【演習】 ・各プラットフォームのデモンストレーション ・プラットフォーム比較表の作成	複数のチャットボット開発プラットフォームの特徴を理解し、それぞれの長所と短所を説明できる。	(予習)主要なチャットボット開発プラットフォームについて調べておく。 (復習)自分のプロジェクトに適したプラットフォームを選び、その理由をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	ユーザーニーズ分析と要件定義 ・ターゲットユーザーの特定方法 ・ユーザーペルソナの作成 ・チャットボットの機能要件と非機能要件	【講義】 ・ユーザーニーズ分析の手法 ・要件定義の重要性と方法 【演習】 ・ユーザーペルソナの作成 ・機能要件リストの作成ワークショップ	基本的なユーザーペルソナを作成でき、チャットボットの主要な機能要件をリストアップできる。	(予習)身近なチャットボットの機能と目的について分析しておく。 (復習)自分のプロジェクトのユーザーペルソナと要件を詳細化する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	チャットボットの対話設計 ・自然な対話フローの設計 ・対話シナリオの作成 ・エッジケースと例外処理	【講義】 ・対話設計の原則と方法論 ・対話フローチャートの作成方法 【演習】 ・簡単な対話シナリオの作成 ・ペアワークでのシナリオテスト	基本的な対話フローを設計でき、想定される一般的な会話パターンに対応できる。	(予習)日常会話のパターンを観察し、メモしておく。 (復習)より複雑な対話シナリオを作成し、エッジケースへの対応を考える。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	チャットボット開発における倫理と責任 ・AIの倫理的課題 ・バイアスと公平性の問題 ・プライバシーとデータセキュリティ	【講義】 ・AIとチャットボットの倫理的問題点 ・責任あるAI開発のガイドライン 【演習】 ・ケーススタディの分析 ・倫理的ジレンマに関するディスカッション	チャットボット開発における主要な倫理的課題を理解し、それらへの対応策を考えることができる。	(予習)AIの倫理的問題に関するニュース記事を読んでおく。 (復習)自分のプロジェクトで生じうる倫理的課題とその対策をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	データの収集と前処理 ・チャットボット用データの種類 ・データ収集の方法と注意点 ・データクレンジングと前処理	【講義】 ・チャットボットのためのデータ収集方法 ・データ品質の確保方法 【演習】 ・サンプルデータの分析と前処理 ・データセットの作成計画立案	チャットボット開発に必要なデータの種類を理解し、基本的なデータ収集計画を立てることができる。	(予習)様々なデータソースとその特徴について調べておく。 (復習)自分のプロジェクトに必要なデータのリストと収集方法を計画する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	プロジェクト管理の基礎 ・チャットボット開発のライフサイクル ・タイムラインとマイルストーンの設定 ・リスク管理と問題解決	【講義】 ・プロジェクト管理の原則と方法 ・チャットボット開発特有の課題と対策 【演習】 ・プロジェクト計画の作成 ・タイムラインとマイルストーンの設定	基本的なプロジェクト計画を立て、主要なマイルストーンを設定することができる。	(予習)プロジェクト管理の基本原則について調べておく。 (復習)自分のプロジェクトの詳細な計画とスケジュールを作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
10	AIツールの活用方法 ・AI画像生成ツールの基礎 ・音声認識・合成技術の活用 ・AIツールを組み合わせた総合的な解決策	【講義】 ・様々なAIツールの概要と特徴 ・AIツールの連携方法 【演習】 ・複数のAIツールを組み合わせた演習 ・チャットボットと他のAIツールの統合実験	基本的なAIツールの使用方法を理解し、それらをチャットボット開発に活用する方法を説明できる。	(予習)主要なAI画像生成ツールと音声AI技術について調べておく。 (復習)自分のプロジェクトに組み込めるAIツールをリストアップし、活用計画を立てる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
11	チャットボット開発プロジェクト企画 ・自分の関心分野に基づくテーマ選定 ・企画書の作成方法 ・プロジェクトの範囲と目標設定	【講義】 ・プロジェクト企画の重要ポイント ・効果的な企画書の作成方法 【演習】 ・個人/グループでのプロジェクト企画立案 ・相互フィードバックセッション	自分の関心に基づいたチャットボットプロジェクトを企画し、基本的な企画書を作成できる。	(予習)自分の関心分野でのチャットボット活用可能性について考えておく。 (復習)フィードバックを基に企画書を改善する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
12	チャットボット開発プロジェクト企画 ・自分の関心分野に基づくテーマ選定 ・企画書の作成方法 ・プロジェクトの範囲と目標設定	【講義】 ・プロジェクト企画の重要ポイント ・効果的な企画書の作成方法 【演習】 ・個人/グループでのプロジェクト企画立案 ・相互フィードバックセッション	自分の関心に基づいたチャットボットプロジェクトを企画し、基本的な企画書を作成できる。	(予習)自分の関心分野でのチャットボット活用可能性について考えておく。 (復習)フィードバックを基に企画書を改善する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
13	中間プレゼンテーション ・プロジェクト企画の発表 ・フィードバックの収集と分析 ・改善点の特定と計画修正	【演習】 ・個人/グループでのプレゼンテーション(5-7分/人・グループ) ・質疑応答とフィードバックセッション ・改善計画の作成	自分のプロジェクト企画を効果的に発表し、フィードバックを基に改善点を特定できる。	(予習)プレゼンテーションの準備と練習をしておく。 (復習)受けたフィードバックを基にプロジェクト計画を修正する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
14	選択したプラットフォームの基本操作 ・開発環境のセットアップ ・基本機能の使い方 ・簡単なチャットボットの作成	【講義】 ・選択したプラットフォームの特徴と基本操作 ・開発環境のセットアップ方法 【演習】 ・プラットフォームの基本機能を使った実習 ・簡単なテストチャットボットの作成	選択したプラットフォームの基本操作ができ、簡単なチャットボットを作成することができる。	(予習)選択したプラットフォームのチュートリアルに目を通しておく。 (復習)基本機能を使って独自の簡単なチャットボットを作成する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
15	前期のまとめと後期の計画 ・前期の学習内容の振り返り ・夏休み中の課題設定 ・後期の開発計画の確認と調整	【講義】 ・前期の学習内容の総括 ・後期の進め方についての説明 【演習】 ・学習の振り返りシートの作成 ・夏休み中の作業計画立案	前期の学習内容を整理して理解し、夏休み中の課題と後期の計画を立てることができる。	(予習)前期の学習内容を復習しておく。 (復習)夏休み中の課題に取り組む計画を詳細化する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
16	後期イントロダクション ・夏休み中の進捗共有 ・後期の目標再確認 ・開発プロジェクトのスケジュール調整	【講義】 ・後期の授業の進め方の説明 ・開発プロセスの確認 【演習】 ・夏休み中の進捗共有セッション ・プロジェクト計画の調整	夏休み中の進捗を報告し、後期のプロジェクト計画を必要に応じて調整することができる。	(予習)夏休み中の成果をまとめておく。 (復習)調整後のプロジェクト計画を詳細化する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17	プロトタイプ開発（基本機能の実装) ・コア機能の設計と実装 ・基本的な対話フローの構築 ・初期テストと評価	【講義】 ・プロトタイプ開発の方法とポイント ・基本機能実装のテクニック 【演習】 ・個人/グループでのプロトタイプ開発作業 ・進捗状況の共有と問題解決	チャットボットの基本機能を実装し、動作する初期プロトタイプを作成することができる。	(予習)実装する機能の仕様を明確にしておく。 (復習)プロトタイプをテストし、問題点を記録する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
19	高度な機能の追加と改善 ・対話の自然さの向上 ・例外処理とエラー対応 ・機能拡張の実装	【講義】 ・高度な対話設計のテクニック ・例外処理の重要性と方法 【演習】 ・個人/グループでの機能追加と改善作業 ・相互レビューセッション	プロトタイプに高度な機能を追加し、対話の自然さと例外処理を改善することができる。	(予習)追加・改善すべき機能のリストを作成しておく。 (復習)実装した機能をテストし、さらなる改善点を特定する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
20	高度な機能の追加と改善 ・対話の自然さの向上 ・例外処理とエラー対応 ・機能拡張の実装	【講義】 ・高度な対話設計のテクニック ・例外処理の重要性と方法 【演習】 ・個人/グループでの機能追加と改善作業 ・相互レビューセッション	プロトタイプに高度な機能を追加し、対話の自然さと例外処理を改善することができる。	(予習)追加・改善すべき機能のリストを作成しておく。 (復習)実装した機能をテストし、さらなる改善点を特定する。	99	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
21	ユーザーテストと評価 ・テスト計画の立案 ・ユーザーフィードバックの収集方法 ・評価指標の設定と測定	【講義】 ・効果的なユーザーテストの方法 ・フィードバック収集と分析のテクニック 【演習】 ・テスト計画の作成 ・同級生間でのユーザーテスト実施	基本的なユーザーテストを計画・実施し、フィードバックを収集・分析することができる。	(予習)ユーザーテストのシナリオを準備しておく。 (復習)フィードバックを基にチャットボットの改善点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
22	ユーザーテストと評価 ・テスト計画の立案 ・ユーザーフィードバックの収集方法 ・評価指標の設定と測定	【講義】 ・効果的なユーザーテストの方法 ・フィードバック収集と分析のテクニック 【演習】 ・テスト計画の作成 ・同級生間でのユーザーテスト実施	基本的なユーザーテストを計画・実施し、フィードバックを収集・分析することができる。	(予習)ユーザーテストのシナリオを準備しておく。 (復習)フィードバックを基にチャットボットの改善点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
23	データ分析と性能改善 ・チャットボットのログ分析 ・パフォーマンス評価 ・改善サイクルの実践	【講義】 ・チャットボットのデータ分析方法 ・性能評価の指標と改善戦略 【演習】 ・ログデータの分析実習 ・分析結果に基づく改善の実施	チャットボットの基本的なデータ分析ができ、その結果に基づいて改善を実施することができる。	(予習)収集すべきデータと分析方法を調べておく。 (復習)分析結果をまとめ、具体的な改善策を実行する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
24	データ分析と性能改善 ・チャットボットのログ分析 ・パフォーマンス評価 ・改善サイクルの実践	【講義】 ・チャットボットのデータ分析方法 ・性能評価の指標と改善戦略 【演習】 ・ログデータの分析実習 ・分析結果に基づく改善の実施	チャットボットの基本的なデータ分析ができ、その結果に基づいて改善を実施することができる。	(予習)収集すべきデータと分析方法を調べておく。 (復習)分析結果をまとめ、具体的な改善策を実行する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
25	チャットボットの運用とメンテナンス ・デプロイと公開の方法 ・継続的な改善サイクル ・運用上の課題と対策	【講義】 ・チャットボットのデプロイと公開の方法 ・継続的改善の重要性と方法 【演習】 ・開発したチャットボットの公開準備 ・運用計画の作成	チャットボットを公開する方法を理解し、継続的な改善と運用の計画を立てることができる。	(予習)デプロイと公開方法について調べておく。 (復習)運用計画を詳細化し、具体的なメンテナンス作業を計画する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
26	チャットボットの運用とメンテナンス ・デプロイと公開の方法 ・継続的な改善サイクル ・運用上の課題と対策	【講義】 ・チャットボットのデプロイと公開の方法 ・継続的改善の重要性と方法 【演習】 ・開発したチャットボットの公開準備 ・運用計画の作成	チャットボットを公開する方法を理解し、継続的な改善と運用の計画を立てることができる。	(予習)デプロイと公開方法について調べておく。 (復習)運用計画を詳細化し、具体的なメンテナンス作業を計画する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
27	最終プロジェクトの仕上げ ・残された課題の解決 ・ドキュメントの整備 ・最終調整	【講義】 ・最終仕上げのポイントと注意点 ・効果的なドキュメント作成方法 【演習】 ・プロジェクトの最終調整作業 ・ドキュメントの作成と整備	プロジェクトの残りの課題を解決し、基本的なドキュメントを整備して最終調整を行うことができる。	(予習)残された課題のリストを作成し、優先順位をつけておく。 (復習)すべての機能とドキュメントの最終チェックを行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
28	最終プレゼンテーション準備 ・プレゼンテーション資料の作成 ・デモの準備 ・発表練習	【講義】 ・効果的なプレゼンテーションの構成と技法 ・デモ実施のポイント 【演習】 ・発表資料の作成 ・プレゼンテーションの練習	プロジェクトの成果を効果的に伝えるプレゼンテーション資料を作成し、発表の練習ができる。	(予習)プレゼンテーションの構成を考えておく。 (復習)練習を重ね、発表の流れと時間配分を最適化する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
29	最終プレゼンテーション ・開発したチャットボットの発表 ・実演デモ ・質疑応答	【演習】 ・個人/グループでの最終プレゼンテーション(10分/人・グループ) ・チャットボットのデモンストレーション ・質疑応答とフィードバックセッション	開発したチャットボットの特徴と成果を効果的に発表し、質問に適切に回答することができる。	(予習)発表の最終準備と練習を行う。 (復習)受けたフィードバックをもとに、今後の改善点をまとめる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
30	振り返りと今後の展望 ・学習内容とプロジェクトの総括 ・成功点と改善点の分析 ・今後の学習と開発の方向性	【講義】 ・1年間の学習内容の振り返り ・チャットボット開発の将来展望 【演習】 ・学習成果の自己評価 ・今後の学習計画の作成	1年間の学習とプロジェクトを振り返り、成功点と改善点を分析し、今後の学習方向性を計画できる。	(予習)1年間の学習内容と成果を整理しておく。 (復習)授業で得た知識とスキルを今後どのように活かしていくか計画を立てる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109G	総合ゼミナール(河合龍二)	河合　龍二			2	必修	2通年

科目の概要

このゼミは、「自己表現力を磨こう」をテーマとする。文字表現・文章表現・音声表現から造形表現・身体表現まで、さまざま分野にな挑戦する。その過程で適性や潜在能力に気付き、自らの可能性を広げることをねらいとする。成果物を残し、集約して発表する機会をつくる。(ディプロマ･ポリシー①②③④⑥)

学修内容	到達目標
① 文字や言葉選びの工夫と効果について理解を深め、実践する。 ② 多様な文章表現のしかたについて理解を深め、実践する。 ③ 多様な音声表現のしかたについて理解を深め、実践する。 ④ 多様な造形表現のしかたについて理解を深め、実践する。 ⑤ 多様な身体表現のしかたについて理解を深め、実践する。	① 文字や言葉選びの工夫と効果について理解を深め、実践することができる。(ディプロマ･ポリシー①②③④⑥) ② 多様な文章表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。 (ディプロマ･ポリシー①②③④⑥) ③ 多様な音声表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。 (ディプロマ･ポリシー①②③④⑥) ④ 多様な造形表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。(ディプロマ･ポリシー①②③④⑥ ⑤ 多様な身体表現のしかたについて理解を深め、実践することができる。(ディプロマ･ポリシー①②③④⑥)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	授業での対話や実践などに、自ら積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	自ら得意とする分野に関する知識やスキルを、他に伝授できる。
	実行力	目標を定め、課題への取り組みを確実に進めていくことができる。
考え抜く力	課題発見力	さまざまなことにチャレンジする中で、適性や潜在能力に気付き、自らの課題を発見し才能を伸長することができる。
	計画力	個人またはチームの作品制作について、タイムスケジュールを立てて準備できる。
	創造力	個人またはチームのテーマについて成果を上げる方策を考え、独自の表現ができる。
チームで働く力	発信力	ゼミ全体の共通テーマについて、各自の表現スキルを組み合わせて、創造作品あるいは創作劇等の成果発表に貢献できる。その過程で、表現のポイントを踏まえ意図が伝わるように工夫できる。
	傾聴力	ゼミ活動の重点、他の学生の発表や創作の要点、グループ内の発言を的確につかみ、長所を見抜いて評価できる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。
参考文献：表現スキルについて、ＳＮＳ上に先駆者のレクチャー動画が多くある。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
学生の主体的活動によって成り立つ講座である。本学が掲げる「三つの挑戦」を体現する。河合は水を向けるものの、予定調和なプログラムを押し付けない。何を表現したいのか、自身に問い続けてほしい。個別最適な学修を目指そう。	恥をかくことが許される学生時代に、自身の才能に気付こう。そのためには、健康とチャレンジ精神とが大切である。自由な対話ができる雰囲気の中で、自らテーマを設定する。個人で活動することも構わない。チームあるいは全体で取り組むことで成果を上げることができるテーマを設定してもよい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	30	①	✓			毎回の振り返りシートに、何を学び今の自分に何が足りないか記述する。それ蓄積し、常に自らの学修を調整している。 単元ごとの作品づくりや実技・実演について、自ら作成した企画書に沿って積極的に取り組むことができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓			作品を創作するにあたり、役割を果たし、pisa型学力を発揮できる。 他との対話を通して、自らの強みと弱みに気付き、課題を解決しようとする意欲や態度を示すことができる。 個人の表現スキルを磨きつつ、その成果が他者の生活を豊かにするものになることが望ましい。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）作品づくりや実技に、積極的に取り組むことができる。 （働きかけ力）得意分野の知識やスキルを他へ伝授できる。 （実行力）目標への取組を確実に進めていくことができる。 （課題発見力）調査結果から課題を発見し、解決策を考察する。 （計画力）作業量や作業時間から計画を立てることができる。 （創造力）独自の作品を創作できる。 （発信力）受け取る相手に分かりやすく、作品の意図や改善点を発表できる。 （傾聴力）他の者の話を聞き、課題を考察し、理解を深めることができる。 （規律性）無断遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
Ｓは、自ら進んで計画的に物事を進め、積極的に実践し、その成果も優れている。個人活動あるいはグループワークで、、他者を配慮した心遣いができる。リーダーシップがあり、発表や作品づくりにおいて指導的役割を果たすことができる。 Ａは、Ｓまではいかないが、上記内容をおおむね充足している。	Ｂは、自ら進んで物事を進め、実践の意欲は感じられ、その成果もまずまずである。個人活動あるいはグループワークで、地道に努力している。リーダーを補佐する役割を果たすことができる。 Ｃは、上記内容をおおむね充足しているが、積極性に欠ける。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミナールの概要と年間計画 文字・言葉選びの工夫と効果①(単元全４回の学修内容例から選択。あるいは独自創作。) 語彙力の大切さ	講義・作品創作 ・シラバスと学泉ノートにより、ゼミナールの概要と年間計画を概観する。 語彙を増やす方法を考える。 ・スマートフォン等で調べ学習をし、成果物(作品、動画等)を蓄積し、適宜短大Instagram等で発表する。(以下、通年で同じ。)	・ゼミナールの概要と年間計画を理解できる。 ・ドリル学習ではない方法で語彙力を身に付けるアイデアを提案できる。	（復習）ゼミナールの年間計画に各自の目標を位置付ける。振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
2	文字・言葉選びの工夫と効果② 人柄が表れると言われる字の書き方と、相手に伝えるメッセージを考える。	作品創作 硬筆や毛筆、その他の書具を使った表現の可能性を探る。何で何を書くかを考える。「美文字」についても触れる。	「何で何を書くか」について、アイデアを提案できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
3	文字・言葉選びの工夫と効果③ 印象に残る「今日の一文字（金言）」「今日の言葉」の企画、製作。	作品創作 一週間カレンダー（７字・７語）あるいは月別カレンダー（12字・12語）を製作する。	創作の進捗状況をを発表できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、発表体験を通して何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。 発表の準備をする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 発信力 規律性
4	文字・言葉選びの工夫と効果④ 文字・言葉選びの工夫と効果のまとめ 成果発表・鑑賞会	成果発表会 個人あるいはチームで創作した作品を発表し、相互評価をする。	一週間カレンダー（７字・７語）あるいは月別カレンダー（12字・12語）をＰＰで発表できる。あるいは実物を紹介できる。	（予習）発表の準備をしておく。 （復習）発表体験を通して何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 発信力 傾聴力 規律性
5	文章表現①(全５回の学修内容例から選択。あるいは独自創作。) 俳句の創作。季語について理解する。	講義・創作・句会ライブ 作品の批評会を行い、相互評価をする。	俳句を三句創作できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	文章表現② 和歌（短歌）の創作。修辞技法について理解する。	講義・創作・歌会ライブ 作品の批評会を行い、相互評価をする。	短歌を三句創作できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	文章表現③ 漢詩の創作。押韻と対句について理解する。	講義・創作・鑑賞会 作品の批評会を行い、相互評価をする。	漢詩を一つ創作できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	文章表現④ 物語、絵本のシナリオを創作する。あるいは作詩・作詞をする。	作品創作 物語、絵本のシナリオを創作する。あるいは作詩・作詞をする。	物語やシナリオのあらすじを発表できる。 あるいはオリジナルの詩、歌にのせる詞を発表できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。発表の準備をする。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	文章表現⑤ 文章表現のまとめ 成果発表・鑑賞会	成果発表会 個人あるいはチームで創作した作品を発表し、相互評価をする。	物語やシナリオのあらすじを発表できる。 オリジナルの詩、曲にのせる詞を発表できる。	（予習）発表の準備をしておく。 （復習）発表体験を通して何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	音声表現①(全５回の学修内容例から選択。あるいは独自創作。) アナウンス、朗読、読み聞かせ、ナレーションについて理解する。	作品（実演）創作 発音、発声、滑舌、無声化、卓立、アクセント、イントネーション等のスキルを理解し、身に付ける努力を始める。	声帯を使った音声表現スキルを理解できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
11	音声表現② スピーチ　群読について理解する。	作品（実演）創作 聴衆を意識した表現、集団での表現について理解し、身に付ける努力を始める。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 規律性
12	音声表現③ 歌唱、演奏、作曲、ヒューマンビートボックスについて理解する。	作品（実演）創作 音声表現の多様性について理解する。 得意とする学生が、苦手意識をもつ学生を指導する。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 規律性
13	音声表現④ 効果音、音響について理解する。	作品（実演）創作 音声表現の多様性について理解する。 得意とする学生が、苦手意識をもつ学生を指導する。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。発表の準備をする。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 規律性
14	オンデマンド 造形表現の企画と準備	視聴とレポート提出 レポートは、造形表現の企画書とする。夏季休業を有効に過ごすことを考える。	期限を守ってレポートを提出できる。 造形表現に向けて、夏季休業中の下準備を計画できる。	（復習）造形表現の準備をする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	音声表現⑤ 音声表現のまとめ 成果発表・鑑賞会	成果発表会 個人あるいはチームで創作した作品を発表し、相互評価をする。	音声を使った動画あるいは実演を、個人で、あるいはグループで発表できる。	（予習）発表の準備をしておく。 （復習）発表体験を通して何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 課題発見力 計画力 創造力 規律性
16	造形表現①(全５回の学修内容例から選択。あるいは独自創作。) 工作、はりぼて、写真、大道具等のアイデア、企画を提案する。	作品創作 造形のねらいを明確にし、製作工程を考える。	作品の企画を提案できる。	（予習）企画書（案）を提出できるようにしておく。 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 課題発見力 計画力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17	造形表現② 絵画、イラスト、手芸、折り紙、ペープサート、衣装、小道具等のアイデア・企画を提案する。	作品創作 造形表現の多様性について理解し、素材やメッセージを含め、作品を創作する。	作品の企画を提案し、創作に励むことができる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。発表の準備をする。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 規律性
18	造形表現③ 絵画、イラスト、手芸、折り紙、ペープサート、衣装、小道具等を創作する。	作品創作 造形表現の多様性について理解し、素材やメッセージを含め、作品を創作する。	作品の創作に励むことができる。	（予習）発表の準備をしておく。 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
19	造形表現④ 華道、茶道、書道、写真、デジタル動画等のアイデア・企画を創作する。	作品創作 造形表現の多様性について理解し、素材やメッセージを含め、作品を創作する。	作品の創作に励むことができる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。発表の準備をする。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 情況把握力 規律性
20	造形表現⑤ 造形表現のまとめ 成果発表・鑑賞会	成果発表会 個人あるいはチームで創作した作品を発表し、相互評価をする。	造形作品を、個人で、あるいはグループで発表できる。	（予習）発表の準備をしておく。 （復習）発表体験を通して何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
21	身体表現①(全５回の学修内容例から選択。あるいは独自創作。) ゼスチャー、パントマイム、演技等について理解し、実践してみる。	作品（実演）創作 身体表現の多様性について理解し、伝える相手やメッセージを考え、表現する。得意とする学生が、苦手意識をもつ学生を指導する。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	（予習）企画書を提出できるようにしておく。 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 計画力 創造力 柔軟性 規律性
22	身体表現② 振り付け、創作ダンス等について理解し、実践してみる。	作品（実演）創作 身体表現の多様性について理解し、伝える相手やメッセージを考え、表現する。得意とする学生が、苦手意識をもつ学生を指導する。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 規律性
23	身体表現③ 群舞等について理解し、実践してみる。	作品（実演）創作 身体表現の多様性について理解し、伝える相手やメッセージを考え、表現する。得意とする学生が、苦手意識をもつ学生を指導する。	相手に伝わるようにする工夫を提案できる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 規律性
24	身体表現④ ゼミ全体で創作する総合作品の構想を練り、テーマ、発表場所、観衆に伝える方策等の工程を考える。	作品（実演）創作 それぞれのアイデアを確認する。自身の役割を考える。	作品の構想や工程を考え、自身のアイデアを発信することができる。	（予習）作品創作 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
25	身体表現⑤ 身体表現のまとめ 成果発表・鑑賞会。	成果発表会 個人あるいはチームで創作した作品を発表し、相互評価をする。	身体表現の動画あるいは実演を、個人で、あるいはグループで発表できる。	（予習）発表の準備をしておく （復習）発表体験を通して何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
26	総合作品創作①(全４回の学修内容例から選択。あるいは独自創作。) 未だ挑戦していない表現、やり残したことに挑戦する。 企画書作成	作品（実演）創作 チームあるいは全体で挑戦する場合、役割分担をし、自身のミッションを確認する。	作品の構想や工程を考え、自身のアイデアを発信することができる。	（予習）企画書（案）を考えておく。 （復習）振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 規律性
27	総合作品創作② 企画に沿った準備をする。	作品（実演）創作 自身のミッションを果たす。	工程表どおり準備を進めることができる。	（予習）作品創作 （復習）自身の役割を果たす努力をする。振り返りシートを基に、何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 規律性
28	総合作品創作③ 企画に沿った準備をする。	作品（実演）創作 自身のミッションを果たす。	工程表どおり準備を進めることができる。	（予習）作品創作 （復習）自身の役割を果たす努力をする。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 規律性
29	オンデマンド 成果の振り返り 卒業後の創作への意欲喚起	視聴とレポート提出 「生涯学習の充実～私が挑戦したいこと～」テーマとする。	期限を守ってレポートを提出できる。 的確な自己評価をしている。 自身の生涯学習を充実させる意欲が見られる。	（復習）１年を振り返り、何が分かったか何ができるようになったかを確認する。創作に関する新たな問いを立てて卒業する。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
30	総合作品創作④ 総合表現のまとめ 成果発表・鑑賞会	成果発表会 個人、チームあるいは全体で創作した作品を発表し、相互評価をする。	成果を個人、チームあるいは全体で発表できる。	（予習）発表の準備をしておく （復習）発表体験を通して何が分かったか、何ができるようになったかを確認する。	180	主体性 課題発見力 計画力 創造力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109E	総合ゼミナール(木村典子) Seminar (Health and Old welfare)	木村　典子			2	必修	2通年

科目の概要

テーマ「私、地域も、健康になろう」
健康は人生を生き抜いていくために必要不可欠なものです。今日、多くの健康法が論じられています。身体・精神・社会面からホリスティクに人間を捉え、健康について考えてみたいと思います。(DP③)
また、多世代との交流の場を設けます。企画、運営、振り返りを通して、計画力を養ってもらいたいと思っています。(②)健康に関することをテーマにして、アンケートや聞き取りを通して、健康について考えていきたいと思います。多くの課題を社会人基礎力の要素を意識し、一つ一つを丁寧に実践、振り返りを通して、また、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を大切に、ゼミ生、多くの人たちとの交流を通して、特にチームで働く力の修得を目指していきます。(DP①②④⑤)
また、健康に関する検定にゼミ生、全員でとりくみ、自分の健康、家族をはじめとした周囲の人たちの健康についてもアドバイスできる能力を養うことを目指します。(DP②③④⑤)

学修内容	到達目標
① 健康評価の質問紙などを活用して、自らの健康状態をアセスメントすることを学ぶ ② 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係を知り、自らの健康管理に結びつけることを学ぶ。 ③ 医療・福祉の現場に出かけ、体験的に現場の現状を学ぶ。 ④ 健康調査、SDGs活動などの活動を振り返り、チー ムで働く力を身につけ、さまざまな年代の方と接して、健康とライフサイクルを考える。 ⑤ ゼミ活動をまとめ、ゼミ内、学内外、の場で発表し、発信力を養う。 ⑥ 健康管理能力検定2級など、２つ以上の検定に向けて、挑戦をする。	① 健康評価指標をもとに、自らの健康状態を把握し、よりよい状態を保つための健康管理について説明できる。(DP②③④) ② 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係を知り、自らの健康管理に結びつけ、説明できる。(DP①②③④⑤) ③ 医療・福祉現場の機能と役割について述べることができる。(DP①②③④) ④ 健康調査、SDGs活動などの活動を企画、運営、振り返りを通して、チームで働く力を身につけ、十分に発揮することができる。(DP①②③④⑤) ⑤ 資料を作成して、ゼミ活動を他者にわかりやすく伝えることができる。(DP①②③④⑤) ⑥ 健康管理能力検定などの検定2つ以上挑戦する。(DP②③)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自ら、必要な知識についてさらに深めた理解をするために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できる。時間割内の他の活動にも、積極的に参加できる。
	働きかけ力	迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けを求めることができる。
	実行力	目標(ゼミ活動、検定合格)を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。
考え抜く力	課題発見力	主観的情報、客観的情報を連動させて、課題を考えることができる。思いつきで行動しない。根拠あるデータをさぐることができる。
	計画力	目標(ゼミ活動、検定合格)を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し、評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。
	創造力	自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。
チームで働く力	発信力	グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる。
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見が述べることができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみいだし、活動につなげることができる。
	情況把握力	メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考えて行動できる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。随時、授業で紹介していく。
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
事前、事後の学習を含め、具体的な事例を用いて解説したり、受講生の体験や意見を求めますので、日々、インターネットや新聞・雑誌等で情報収集に努めて、学習内容を理解するようにして下さい。 事前に課題を出します。次回のグループワークにつながりますので行ってくること。	講義と文献学習、実践、発表といった形式で進めていきます。学生参画型の授業を進めていこうと考えています。授業では文献検索など、主体的に学習をして、健康について理解を深めていってもらいます。多くの資料を読んでわかったことを自分の言葉で表現できることを求めています。また、授業態度は課題に対して社会人基礎力を培おうとしているか評価します。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	40	①	✓	⑥	✓	・自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法が述べられている。 ・ライフサイクルと健康(こども、成人、高齢者)についてまとめてある。 ・生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係をまとめ、自己の健康に結びつけている。 ・見学を通して、施設の役割を述べている。 ・活動を通して、接した人達とのコミュニケーションを通して学んだことを文献を踏まえて述べている。 ・ゼミ活動を通して、自己の変化を振り返り、次の目標をもてている。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓	⑥	✓	・pisa型学力 授業で学んだことをもとに、SDGs活動、まちづくり活動などの活動を企画、提案をできる。提案したした企画を実施し、振り返りをする。これらの過程をわかりやすくパワポイントにまとめ、説明できる。 ・授業の冒頭で、ゼミ活動の進捗状況を確認するために発表を行う。 ・2分間の発表、ランダムに発表者を指定する。 ・注目すべき理由、表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。 ゼミ活動について発する機会を学内外で設けるその場で、他者にわかりやすく伝えるための資料を作成し、工夫をして伝えることができる。 「私の家族の健康マニュアル」が作成できる。 　文献を活用して、エビデンスの高いデータをもとに、わかりやすく図や表を入れて作成できる。 ゼミの学外での活動、自己学習ノート、検定へとりくみについて評価する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	（主体性）　自ら、必要な知識についてさらに深めた理解するために、文献を使って、自己学習ノートを作成できている。ゼミ活動が円滑にすすむための資料を集めることができる。 (働きかけ力) 迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けることができる。 （実行力）　目標を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができている。 （課題発見力）　資料、教科書からわかったこと、自分の体験したことを、客観的に、連動させて考えることができている。 (計画力) 目標(ゼミ活動、検定合格)を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。 （創造力）　課題を考えるとき、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができている。 （発信力）　グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できている。 （傾聴力）　グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができている。 (柔軟性) 自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみいだし、活動につなげることができる。 (情況把握力) メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考えで、行動できる。 （規律性）遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 (ストレスコントロール力) メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
秀 1.自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践し、他者にもアドバイスできる。 2.ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、常に次の目標をもつことが身についている。 3.ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れながら行え、タイムマネージメントができる。 4.レポート、作品が期日までにでき、わかりやすく他者に説明することができる。 5.ゼミの時間割外での活動に積極的に参加することができる。 6.社会人基礎力に関する行動事例が達成できている。 優 1.自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践し、他者へのアドバイスできる。 2.ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、目標をもつことができる。 2.ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、常に次の目標をもつことが身についている。 3.ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れることができる。 4.レポート、作品が期日までにでき、わかりやすく他者に説明することができる。 5.ゼミの時間割外での活動に参加することができる。 6.社会人基礎力に関する行動事例が達成できている。	良 1.自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践しようと努力がわかる。他者へアドバイスするにはかなりのコメントを要する 2.ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、次の目標につなげる行動がとれるようになってきている。 3ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れようとしている努力が伺える。 4.レポート、作品が期日までにでき、他者に説明することができる。 5. 社会人基礎力に関する行動事例が達成しようと努力できる。 可 1.自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践しようと努力が行動がわかる。他者へアドバイスするにはかなりのコメントを要する 2.ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、次の目標につなげる行動がとれるようになってきている。 3ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れようとしている努力が伺える。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方について ・ゼミの運営方法について ・私の思い出のお菓子と回想法	講義と演習	ゼミの方針を理解する役割分担に積極的に協力する。	復習）自分のやりたいことをまとめてレポートにする（予習）まちづくりプロジェクトの発表の準備をする。私の思い出のお菓子の歴史と自分の成長をリンクさせて考えてみる。	60	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
2・3	SDGs活動、生デまちづくりプロジェクト、災害対策 矢作地区のまち歩き、市役所の統計データ、先輩の活動から、矢作北地域の特徴を調査する。	学外調査 フィールドワーク	地域の地理的特徴や歴史について図書館で調べたり、地域の人々に聞き取り調査をしたりするなどの行動がとれる。	（復習）まち歩き、調査の結果をまとめる。（予習）PPで、発表できるようにする。学泉サロンでの内容の企画を計画してくる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
4・5	SDGs活動、生デまちづくりプロジェクト、災害対策 矢作地区のまち歩き、市役所の統計データ、先輩の活動から、矢作北地域の特徴を調査する。	学外調査 フィールドワーク	地域の地理的特徴や歴史について図書館で調べたり、地域の人々に聞き取り調査をしたりするなどの行動がとれる。	（復習）まち歩き、調査の結果をまとめる。（予習）PPで、発表できるようにする。学泉サロンでの内容の企画を計画してくる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
6・7	私の成長と私の思い出のお菓子	プレゼンテーション 講義(回想法とは) 演習	回想法の効用と行い方について理解する。	（復習）回想法についてまとめる。(予習)認知症カフェ、サロン活動のレクリエーションとして活用できる回想法のツールを作成する	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
8	自分でできる健康度チェック 客観的健康指標を使って、今の健康状態を評価する。 血圧、脈拍、アミラーゼ、皮膚の弾力性	プレゼンテーション 演習	客観的健康指標を使って、今の健康状態を評価していき、自分の健康について考えることができる。	（復習）自己の健康管理のレポート作成をする。(予習) ストレスと自律神経についてまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
9	心の健康と自己コントロール。文献を読んで、心の健康について考えていきます。	プレゼンテーション演習	文献を読んで、自分の意見を発表できる。	復習）発表のための資料作成。 心の健康 手記を読んで考えたこと（予習）まちづくりプロジェクトの企画を考えてくる。 地域と防災について調べる。	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10・11	SDGs活動、生デまちづくりプロジェクト 企画を考えていきます SDGs活動、OKフード活動の提案をカード法を用いて、みんなで検討していきます。地域住民からとったデータ、実際の活動から考える	演習 プレゼンテーション 協定書に基づく外部と連携した課題解決型学習	よりよいOKフード活動、まちづくりについて、自分の言葉で説明できる。	（復習）発表のための資料作成心の健康 手記を読んで考えたこと（予習）まちづくりプロジェクトの企画を考えてくる。 地域と防災について調べる。	120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12・13	アロマセラピーの効果について調べ、福祉現場で実施する。触れるケア背部マッサージハンドマッサージ	プレゼンテーション実験エッセンシャルオイルによってのアミラーゼの変化	アロマセラピーの効果について調べ、福祉現場で実施の企画、運営、振り返りができる。	（予習）皮膚感覚の解剖生理について調べてくるアロマセラピーの効用（復習）企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
14・15	生活リズム(日内リズム、睡眠、活動)と健康 SDGS活動をするために、企画書を計画し、予行練習する。 生デまちづくりプロジェト 今までのSDGs活動、サロン活動、認知症カフェ活動、まち歩き、調査したデータをもとに、よりよいサロンの提案ができる。	演習 プレゼンテーション	生活リズム(日内リズム、睡眠、活動)と健康の関係について説明できる。 企画、運営、振り返りができる。 A3一枚に、わかりやすく、矢作北地域の特徴をまとめることができる。	(予習)生活と健康について、ゼミで分担して調べる（復習）認知症カフェ、こどもまつり企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
16・17	学校祭に参加について検討 生デまちづくりプロジェクト	演習 発表	企画、運営、振り返りができる。	（復習）企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
18・19	SDGS活動、まちづくりプロジェクト 認知症カフェに参加のための企画と準備	演習 協定書に基づく外部と連携した課題解決型学習	企画、運営、振り返りができる。	（予習）学祭に向けて、より良い品が提供できるように近隣のスーパーの市場調査ができる。(復習）企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
20・21	ゼミ発表向けて、チームで、役割分担を決め、進める	演習 プレゼンテーション	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(予習)案を各自、考えてくる。（復習）企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
22～24	健康に関する調査を実施し、統計処理をし、まとめる。 KJ法にて質問紙を作成していく。 作った質問紙のプレ調査を実施 修正 調査の実施 統計処理 各分担で表、図の作成 発表資料の作成	演習 プレゼンテーション	各自の分担されたデータ処理し、まとめることができる。	(予習)健康に関する資料(意中誌)を収集し、書いてあることをまとめる。（復習）分担されたデータ処理し、まとめ、進捗状況を毎回、発表し、チームで話し合いができる資料を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
25・26	ウォーキングの効用を調べ、矢作北地域の特徴を活かしたウォーキングマップの作成とウォーキングの実施	演習 プレゼンテーション	チームで分担し、ウォーキングマップが作成できる。 我が家の健康マニュアルの作成できる。	予習)ウォーキングの効用、矢作北地域の特徴を調べる。（復習）チームで分担された資料を作成する。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
27・28	我が家の健康マニュアルの作成 　家族の健康状態を客観的データをもとに分析する。	プレゼンテーション 演習	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(予習) 我が家の健康問題を考えてくる。 (復習) 我が家の健康マニュアルの作成する。	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
29・30	健康を保つために ゼミ活動の発表 学生フォーラムなど学外で、ゼミ活動の成果を発表	演習	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(予習) 一年のゼミ活動を発表するための資料を収集する（復習）一年のゼミ活動を振り返り、自己学習ノートを整理、作成	120	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109I	総合ゼミナール(杉浦菜穂子) Synthesis Seminar	杉浦菜穂子			2	必修	2通年

科目の概要

テーマ：「ファッションクリエイティブデザインーファッションを通してできることを考えるー」
被服製作・ファッションについての専門的な知識を修得します。専門知識を活用し、ファッションの力で出来ることを考案、地域貢献活動を実践しアパレル業界の問題解決を目指します。CO_2排出量の増加による地球温暖化が社会問題としてクローズアップされるなか、世界2位の環境汚染産業といわれるアパレル業界においてSDGsを意識した被服製作活動は必須条件です。ジェンダーフリー、ジェネレーションフリーでトレンドを捉えたデザインとはなにかを考え、健常者でも、障がいのある方でも若者でも高齢者でも、だれでも着られる、着やすい作品を創造します。人間の体は一人ひとり違います。個性を大切にしたファッションとは何かを考え、研究していきます。また、ファッションショーに向け「私が1番輝く服」をテーマにデザインし、SDGsを意識した製作活動を進めます。洋裁の基本はもとより、ショー作品を製作することによって、より専門的で高度な洋裁技術を体得します。ゼミ活動を通して建学の精神を実践し、社会人基礎力を身に付け、製作したショー作品を着装して発表することにより、潜在能力の開発を目指していきます。ショー作品製作では獲得した知識を活用し、デザイン画に沿った作品になるよう課題解決を行います。これはディプロマポリシーの①と④に相当し、これらを身に付けるために行います。

学修内容	到達目標
① 被服製作の専門的知識を学び、ショー作品を製作する。 ② ファッション環境について市場調査し、分析する。 ③ ファッショントレンドを捉えてデザイン画を描き、製作する。製作したショー作品は、着装して発表する。	① 被服製作の専門的知識を学び、ショー作品を製作することができる。これはディプロマポリシーの①と②に相当し、これらを身に付けるために行います。 ② SDGsに基づき、サスティナブルなファッションデザイン画を作成することができる。これはディプロマポリシーの①と④に相当し、これらを身に付けるために行います。 ③ 製作した作品をトータルコーディネートして着装し、ファッションショーで発表することにより潜在能力を伸ばすことができる。これはディプロマポリシーの⑥に相当し、これらを身に付けるために行います。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	ファッションについて情報を積極的に収集し、様々なスタイル傾向を捉える。教員が提示する社会人基礎力を授業で意識して受講することができる。
	働きかけ力	
	実行力	自ら立てた目標達成に向けて、具体的に行動することができる。
考え抜く力	課題発見力	トレンドを分析し、着用するうえでの問題点を考えながらデザインを行うことができる。縫製方法を工夫することができる。
	計画力	
	創造力	環境に配慮し、個々に寄り添い対応したサスティナブルファッションを考え、新しいファッションスタイルを提案することができる。
チームで働く力	発信力	発表会では、自分の意見をわかりやすく伝えることができる。自身の作品を表現することができる。
	傾聴力	チーム活動では互いの考えをディベートし、製作や研究に活かすことができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：プリント配布
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ファッション造形、やさしいソーイング、アパレルパターンメイキング、コスチュームデザイン
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
ファッションを通じて社会情勢に関心を持ちましょう。ゼミ活動を通じて四大精神を実践し社会人基礎力を身に付け、1年で確かな成長を目指しましょう。洋裁の技術修得には時間がかかりますが、こつこつと努力を重ね身に付けていきましょう。	欠席せず、時間、ルール、提出物期限を厳守する。提出物に不備がないかを提出前に確認し、丁寧に仕上げること。携帯電話の電源は切り、鞄に入れておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			自らデザインし、作品を製作・発表する。 ・オリジナリティーに溢れ、個々に合った作品かを評価する。 ・細部まで丁寧に製作できているかを評価する。 ・製作の過程で問題が発生した際に、これまでの知識を活用して縫製方法を工夫しているか評価する。 （特に優れて高い：S、優れて高い：A、完成しており問題ない：B、完成しているが着用に問題あり：C）
				②	✓			
				③	✓			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：ファッションについての情報を積極的に捉え、デザインに活かすことができる。 実行力：ファッションと社会の動向を捉え、製作作品で表現できる。 課題発見力：目標を達成するための問題点を考えながら取り組むことができる。 創造力：様々なファッションスタイルに刺激を受け、新しい発想のもとアイデアが提案できる。 発信力：発表会では自分の意見をわかりやすく伝えることができる。 傾聴力：チーム活動では、他者の意見をしっかりと聞き、製作に活かすことができる。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲を欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォロー課題を行う。
				②	✓			
				③	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルS 下記に加えて、チーム活動において、自分の意見をしっかり発信し、統率力を発揮することができる。作品制作では、完成度の高い構成で表現されオリジナリティがある。 到達レベルA 作品制作に対して一生懸命に取り組み、デザイン性に優れ完成度の高い作品として仕上がっている。	到達レベルB 自分でデザインし、作品を制作することができる。 到達レベルC 上記の内容に対して、提出物の遅延・不備がある。プロジェクト活動に対して意欲的な姿勢がみられない。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ゼミ活動の内容説明やスケジュール説明を行う。 学泉祭ファッションショーの説明、デザイン画下絵制作。	講義と質疑応答 教員が1年間の活動内容を説明する。 グループワーク：パソコンを利用し、学泉祭ファッションショー過去作品作品、外部ショー作品の情報を収集・分析しまとめる。 デザイン画を点検し、フィードバックする。	ゼミの内容を理解し、ゼミの概要が分かる。 学泉祭ファッションショーの特徴を掴み、テーマに沿ったデザイン画アウトラインを制作できる。	（予習）シラバスを読み、ゼミの内容を捉える。学泉祭ファッションショー過去作品作品を調べる。デザイン画下書き。 （復習）デザイン画アウトラインを完成させる。	90	主体性 傾聴力 規律性
2	学泉祭ファッションショー　デザイン画着色・バック着色	演習 教員の説明後、デザイン画制作を行う。デザイン画を点検し、フィードバックする。	デザイン画に着色することができる。バックに着色することができる。	（予習）デザイン画のアウトラインペン入れ。配色を考案してくる。 （復習）配色パターンを2～3パターン考案する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
3	学泉祭ショー作品製作採寸し、原型を作成する。	演習 教員が原型について説明後、パターンメイキングを行う。原型を点検し、フィードバックする。	採寸をし、原型を作成できる。	（予習）ショー作品のデザインについて調べる。自身の寸法を確認する。 （復習）原型を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力
4	学泉祭ショー作品製作コンテストに向けてを製作をする。 縫製方法を学修し、パターンメイキングする。	演習 教員がパターンのひきかたついて説明後、パターンメイキングを行う。パターンを点検し、フィードバックする。	パターンを仕上げることができる。	（予習）自身の出来上がり寸法を確認する。 （復習）パターンの見直し、展開を行い完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力
5	学泉祭ショー作品製作布購入準備・素材研究コンテスト作品、発表作品の素材研究・手工程の考案を行う。	演習 教員がショー作品の素材について説明後、素材について調べ、手工程を考案し、試作する。	デザイン画に合った素材を理解し、手工程を考案することができる。	（予習）布の使用量についてについて調べる。 （復習）布を購入し、地直しを行う。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
6	学泉祭ショー作品製作コンテスト、発表に向けて作品を製作する。 布裁断・印付けを行う。	演習 教員が布裁断方法について説明後、裁断・印付けを行う。印を点検し、フィードバックする。	布を裁断することができる。	（予習）パターンチェックをしてくる。 （復習）ディティールの縫製方法について調べてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
7	学泉祭ショー作品製作発表に向けて作品を製作する。 仮縫いを行う。	演習 教員が仮縫い方法について説明後、仮縫いを行う。提出物を点検し、フィードバックする。	仮縫いをすることができる。	（予習）ディティールの縫製方法について調べてくる。 （復習）仮縫いをしてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
8	学泉祭ショー作品製作発表に向けて作品を製作する。 試着・補正を行う。	演習 教員が試着・補正について説明後、各自製作を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	仮縫い試着・補正を行うことができる。	（予習）仮縫いをしてくる。 （復習）パターンの直しをしてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	学泉祭ショー作品製作発表に向けて作品を製作する。 本番用布の裁断を行う。	演習 教員が裁断について説明後、各自裁断を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	本番用布を裁断することができる。	（予習）補正をしてくる。 （復習）布地に合った印付けをしてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
10	学泉祭ショー作品製作に向けての基礎縫い 作品を製作するにあたり、ICTを活用し基礎縫いを行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、ICTを活用教材「GFP」を使用し、縫製を行う。クラスルーム上に提出された課題を点検し、フィードバックする。	トップスの縫製ができる。	（予習）トップスのミシン準備。 （復習）トップスの完成。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
11	学泉祭ショー作品製作発表に向けて作品を製作する。 ボトムスの縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	ボトムス（脇）の縫製ができる。	（予習）トップスの完成。 （復習）ボトムス　脇縫いの完成。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
12	学泉祭ショー作品製作発表に向けて作品を製作する。 ボトムスの縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	ボトムスの製作を予定表通りに進めることができる。	（予習）計画表に沿ってボトムスを縫製する。 （復習）作品の小物についてコーディネート計画を立てる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
13	学泉祭商品開発作品を製作する。 グループで学泉祭に向けSDGsを意識した商品開発を行う。開発商品を決定し、制作計画を立てる。	演習・グループワーク 教員が説明後、グループで開発商品を決定。制作計画書を作成する。提出物（計画書）を点検し、フィードバックする。	開発商品を考え、制作計画を立てることができる。	（予習）サスティナブルファッションアイテムについて市場調査を行う。 （復習）開発商品の制作過程についてまとめる。	90	主体性 実行力 創造力 規律性
14	学泉祭ショー作品中間発表・プレゼンテーション（オンデマンド) 他作品を鑑賞し、自身の作品に活かせるよう分析する。	演習　オンデマンドクラスルームを使用しクラスルームにあげられた他作品画像と作品説明をみて分析し、レポートにまとめ、クラスルームに提出する。提出物を点検し、フィードバックする。	自作品、他作品のデザイン、縫製方法、ディティールの長所や短所を分析し、レポートにまとめクラスルームに課題提出することができる。	（予習）自身の学泉祭ショー作品の写真と解説書を作成し、クラスルームに提出する。 （復習）作品に改善点等がないか確認し、次作品の製作計画を立てる。	90	主体性 実行力 発信力
15	学泉祭ショー作品製作発表に向けて作品を製作する。 ボトムスの縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	ボトムスの製作を予定表通りに進めることができる。	（予習）計画表に沿ってボトムスを縫製する。 （復習）作品の小物についてコーディネート計画し、購入する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
16	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。	演習 作品を製作する。 提出物を点検し、フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	（予習）縫製予定まで進めてくる。 （復習）縫製の不備を手直しする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。	演習 作品を製作する。 提出物を点検し、 フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	（予習）縫製予定まで進めてくる。 （復習）縫製の不備を手直しする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
18	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。	演習 作品を製作する。 提出物を点検し、 フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	（予習）縫製予定まで進めてくる。 （復習）縫製の不備を手直しする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
19	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。	演習 作品を製作する。 提出物を点検し、 フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	（予習）縫製予定まで進めてくる。 （復習）縫製の不備を手直しする。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
20	学泉祭ショー作品を製作する。 縫製を行う。 小物を制作する。	演習 教員の説明後、トータルコーディネイトを考え、小物を制作する。	作品を完成させる。発表作品をトータルコーディネイトした小物を制作し、効果的な発表方法を考えることができる。	（予習）ヘッドアクセサリー・アクセサリー・シューズのデザイン収集。材料準備。 （復習）発表作品・小物の仕上げと点検をし、不備がないかチェックする。作品に改善点があれば直しを行い、完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
21	卒業ファッションショーテーマ考案 卒業ファッションショーのテーマを考案する。	講義・グループワーク 教員が昨年の卒業ファッションショーについて説明後、各自テーマ考案。提出物（各自考案したテーマ）を点検し、フィードバックする。	卒業ファッションショーの主旨について理解し、テーマを考案することができる。	（予習）卒業ファッションショーテーマを考えてくる。 （復習）他者の意見を聞き、卒業ファッションショーテーマにふさわしいものを考える。 卒業作品デザイン画考案。	90	主体性 実行力 規律性
22	卒業作品製作 デザイン画を作成する。 デザイン、着色し、背景、全体の仕上がり、素材を考える。	演習 教員がデザイン画について説明後、各自デザイン画の着色を行う。提出物（D画）を点検し、フィードバックする。	デザイン画に着色し、背景・全体を仕上げることができる。	（予習）着色画材を何パターンか用意してくる。 （復習）デザイン画を着色し、完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
23	卒業作品製作 パターンメイキング 布購入準備・素材研究 作品の素材研究・手工程の考案を行う。	演習 教員がパターンメイキング・素材について説明後、製図する。素材について調べ、手工程を考案し、試作する。	パターンメイキングができる。 デザイン画に合った素材を理解し、手工程を考案することができる。	（予習）素材・手工程について調べる。 （復習）布の使用量について調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
24	卒業作品製作 パターン展開、仮縫いを行う。	演習 教員がパターン展開について説明後、各自展開を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	パターンを展開することができる。仮縫い用布を裁断することができる。	（予習）仮縫い用布を準備する。 （復習）仮縫いをしてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
25	卒業作品製作 試着・補正を行う。	演習 教員が試着・補正について説明後、各自試着・補正を行う。 提出物を点検し、フィードバックする。	仮縫いの試着・補正を行うことができる。	（予習）仮縫いをしてくる。 （復習）布を購入し、地直しをしてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
26	針供養	演習 教員が針供養の意義について説明後、供養、埋針を行う。	針供養の意義について理解し、レポート作成できる。	（予習）針供養について調べてくる。 （復習）針供養・四大精神についてまとめ、レポートを作成。	90	主体性 実行力 規律性
27	卒業作品製作 本番用布の裁断を行う。	演習 教員が裁断方法・縫い代について説明後、各自裁断を行う。裁断された本番用布を点検し、フィードバックする。	本番用布の縫製方法を考慮し、縫い代をつけ裁断することができる。	（予習）縫製計画を立てる。 （復習）縫製予定まで進めてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
28	卒業作品製作 縫製を行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物を点検し、フィードバックする。	縫製計画を立て、目標を達成できる。	（予習）手工程を考案し、試作してくる。 （復習）縫製予定まで進め完成を目指す。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
29	作品・成果発表会（オンデマンド） ゼミ活動のまとめ クラスルームを使用して他作品を鑑賞し、自己作品の分析と1年間のゼミ活動の活動を振り返り、卒業後の目標設定を行う。	演習　オンデマンド クラスルームにあげられた他作品画像と作品説明をみて分析し、レポートにまとめ、クラスルームに提出する。 提出物を点検し、フィードバックする。	卒業作品を発表し、ゼミ活動の総まとめのレポートを作成することができる。 自作品、他作品のデザイン、縫製方法、ディティールの長所や短所を分析し、レポートにまとめ、クラスルームに課題提出することができる。	（予習）卒業作品の解説書を作成し、クラスルームに課題提出する。 （復習）発表の反省とゼミ活動を振り返りまとめたレポートを作成し、クラスルームに課題提出する。	90	主体性 実行力 発信力
30	卒業作品製作 糸の始末、アイロン、仕上げを行う。	演習 教員が縫製方法について説明後、各自縫製を行う。提出物（発表作品）を点検し、フィードバックする。	縫製計画に沿って作品を仕上げ、完成させることができる。	（予習）ヘッドアクセサリー・アクセサリー・シューズのデザイン収集。材料準備。発表作品の仕上げ。 （復習）発表作品・小物の仕上げと点検をし、不備がないかチェックする。作品に改善点があれば直しを行い、完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109C	総合ゼミナール(鈴木 尊士) Synthesis Seminar	鈴木 尊士			2	必修	2通年

科目の概要

このゼミは、観光の現場に着目した実践的な学びを重視する。マーケティング、経営学、経済学、工学、心理学、景観論といった学問分野の視点から、観光とビジネス、観光と地域づくり、また観光の果たす役割について自ら調べ学び成果物を形にし、発表する機会を作る。世界に進出しても恥じないためにも「建学の精神」、「社会人基礎力」「pisa型学力」を学修する。この授業は、ディプロマ・ポリシーの①④⑥に相当する。これらを身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① 岡崎の観光について理解する ② 日本の観光政策について調査し、分析する。 ③ 世界の文化や歴史を知る ④ グループワークを行う際に協力し作業をする	① 岡崎の歴史について理解し自分の言葉で説明できる。(ディプロマ・ポリシー①④⑥に相当する) ② 観光立国としての現状について明快に理解人に伝えることができる。(ディプロマ・ポリシー②⑥に相当する) ③ 世界の異なる文化や歴史の大切さを理解し説明できる。(ディプロマ・ポリシー④⑥に相当する) ④ 周りに配慮し協調性をもって人と接する事ができる。(ディプロマ・ポリシー①④⑥に相当する)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	観光について情報を積極的に収集し、興味関心をもって、自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	自ら設定した目標に向けて、知識を得て、問題解決に向けて諦めることなく最後まで一生懸命に努力することができる。
考え抜く力	課題発見力	日常生活において観光に関わる事を発見し疑問を持つことができる。
	計画力	旅行の計画を作成する際に、時間内に作業を進めるために手順をしっかり考え行動することができる。
	創造力	固定概念にとらわれず、自らの知識や調べた情報を活用し自分の物にすることができる。
チームで働く力	発信力	自分の意見を相手にわかりやすく説明、発表することができる。
	傾聴力	チームで活動する際など、自分の意見を言うだけでなく相手の意見にも耳を傾けることができる。
	柔軟性	一度立てた計画でも必要に応じて柔軟に変更をすることができる。
	情況把握力	
	規律性	遅刻や無断欠席をすることなく、学修することに意欲を出し、授業が円滑に進むようにルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：プリント配布
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

国際理解、アジアの文化と社会

学修上の助言	受講生とのルール
普段から世界や観光に関する情報を積極的に見つけるようにしてください。 世界は目まぐるしく変化しています。 情報収集に新聞、テレビ、インターネット、図書館などを活用することを推奨します。	楽しく活気のある授業にするためにも遅刻、無断欠席はやめよう。 恥ずかしがらずに、積極的に自らを出し、いろんなことにチャレンジしていこう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	10	①	✓			・授業で学習した内容の理解度を自らの言葉で記述することができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	80	①	✓			・実際に観光地へ行くことが現実的には難しいため、架空で自らが旅行プランナーになり、設定、計画を考えた上で観光ガイドも行うことができる。 ・ほかの人とは違ったオリジナリティを旅行計画に含め発表することができる。 授業を通してpisa型学力、社会人基礎力を発揮することができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性:　観光について情報を積極的に収集し、興味関心をもって、自己学修をすることができる。 実行力：自ら設定した目標に向けて、知識を得て、問題解決に向けて諦めることなく最後まで一生懸命に努力することができる。 課題発見力：日常生活において観光に関わる事を発見し疑問を持つことができる。 計画力：旅行の計画を作成する際に、時間内に作業を進めるために手順をしっかり考え行動することができる。 創造力：固定概念にとらわれず、自らの知識や調べた情報を活用し自分の物にすることができる。 発信力：自分の意見を相手にわかりやすく説明、発表することができる。 傾聴力：チームで活動する際など、自分の意見を言うだけでなく相手の意見にも耳を傾けることができる。 柔軟性：一度立てた計画でも必要に応じて柔軟に変更をすることができる。 規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローアップレポート課題を行う。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S-自ら積極的に進んで計画的に物事を進め、チームの活動及び自らの課題に一生懸命取り組むことができる。 完成度の高くオリジナリティのある作品ができる。 A-自ら進んで計画的に物事を進め、チームの活動及び自らの課題に一生懸命取り組むことができる。 オリジナリティのある作品ができる。	B-計画的に物事を進め、チームの活動及び自らの課題に一生懸命取り組むことができる。 オリジナリティのある作品ができる。 C-計画的に物事を進め、チームの活動及び自らの課題に一生懸命取り組むことができる。 作業時間内に作品ができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1・2	オリエンテーション 授業の内容説明やスケジュール説明を行う 観光産業を学ぶ	講義と演習	ゼミの方針を理解する	(復習)自分がやりたいことをまとめてリストアップする。 (予習)PCや図書館を使用して岡崎市のかんこうについて調べ、興味を持った点をリストアップする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
3・4	岡崎市の観光について学ぶ ・実際に観光地に行き魅力、問題点を調査する。	課外調査 フィールドワーク	地域の文化や歴史について理解し、地元住民や観光客と積極的にコミュニケーションをとることができる。	(復習)訪れた岡崎市の観光スポットについてまとめる (予習)PCをや図書館を使用し岡崎市の観光について調べ、興味を持った点をリストアップする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
5・6	岡崎市の観光について学ぶ ・実際に観光地に行き魅力、課題点を調査する。	課外調査 フィールドワーク	地域の文化や歴史について理解し、地元住民や観光客と積極的にコミュニケーションをとることができる。	(復習)訪れた岡崎市の観光スポットについてまとめる。 (予習)岡崎市の観光について発表するために準備をする。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力
7・8	岡崎市の観光についての発表	プレゼンテーション 講義　魅力・課題点	自分の考えと他人の意見の違いを見つけ分析できる。	(復習)自分、クラスメートが発表して気になった岡崎市の観光スポットについてまとめる。 (予習)PCや図書館を使用して世界の観光産業について調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力
9	世界の観光について学ぶ(オンデマンド) ・衣食住文化	・講義 ・グループワーク ・発表	世界の衣食住文化について理解することができる	(復習)世界の衣食住文化についてまとめる (予習)PCや図書館を使用して世界遺産についてインターネットなどを使い調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力
10・11	世界の観光について学ぶ ・世界遺産	・講義 ・グループワーク ・発表	世界遺産の魅力・問題点などについて理解することができる。	(復習)世界の世界遺産についてまとめる (予習)まちづくりついてインターネットなどを使い調べる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力
12・13	文化を活用した観光と地域の活性化/まちづくりについて学ぶ	・講義 ・グループワーク ・発表	観光地のまちづくりについて理解することができる。	(復習)観光地のまちづくりについてまとめる。 (予習)発表に向けての準備	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力
14・15	前期の活動まとめを行う	オンデマンド 講義 復習	前期の総復習ができ、反省することができる	前期の総復習をしレポートを作成する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16	後期のゼミ活動について理解する	講義 後期のスケジュールを全員で確認 口頭質問	後期のゼミではどのようなことに挑戦したいかまとめることができる。	(復習) 後期のゼミで挑戦したいことをまとめる。 (予習) 学泉祭でどのようなお店を出したいか調べてくる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力
17・18	学泉祭に向けて計画を立てる	講義 演習 学泉祭に向けて計画を立てる グループごとに計画、立案をする	グループに分かれて決められた作業、計画を立てることができる。	(復習)学泉祭に向けて準備をする (予習)報告書作成に向けて世界の観光地を調べる	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力
19・20	最終ゼミ報告書(旅行計画書)の概要説明、作成に向けて準備をする	演習 計画案を作成	最終ゼミ報告書の書き方、資料収集の方法を理解できる	(予習)(復習) PCや図書館を使用して各自興味のある国や観光地について調査する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
21・22	最終ゼミ報告書(旅行計画書)の資料収集と相談	演習 各自が活動 質疑応答	図書館や情報処理室を利用し、最終ゼミ報告書(旅行計画書)作成のための資料収集を行うことができる。	(復習)各自、テーマを一つに絞る。 (予習)最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成を進める	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力
23・24	各自最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成	演習 各自が最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成を進める 質疑応答	図書館や情報処理室を利用し資料を収集し最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成をすすめることができる。	(予習)(復習)最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成を進める	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力
25・26	各自最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成	演習 各自が最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成を進める 質疑応答	図書館や情報処理室を利用し資料を収集し最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成をすすめることができる。	(予習)(復習)最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成を進める	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力
27	各自最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成 (オンデマンド)	演習 各自が最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成を進める 質疑応答	図書館や情報処理室を利用し資料を収集し最終ゼミ報告書(旅行計画書)の作成をすすめることができる。	最終ゼミ報告書の作成と修正	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力
28	ゼミの報告書(旅行計画書)の修正と最終提出をするとともに 最終発表の準備をする	演習 各自活動をする フィードバック	最終ゼミ報告書の修正を行い最終提出ができる。	(予習) ゼミの発表の準備をする	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
29	ゼミ活動のまとめ	演習 ゼミ発表会で報告をする。	完成したゼミの報告書(旅行計画書)をもとに1年間学修したことを発表することができる	(復習)発表の反省をする	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力
30	ゼミ活動のまとめ	オンデマンド 演習 ゼミのまとめ	総復習をすることができる	１年かを振り返り完成したゼミの報告書(旅行計画書）をもとに１年間学修してきたことを総復習する		主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109H	総合ゼミナール(長谷川えり子) Seminar (Fashion Produce)	長谷川えり子			2	必修	2通年

科目の概要

テーマ：「ファッションプロデュース」
ファッションを通して、様々な視点から物事をとらえ、社会人として自立するための人間力を養っていく。ファッション業界（アパレル、ブライダル、ビューティーなど）の動向をとらえ、トレンドを分析する。また、ファッションビジネスプロジェクトとして、アクセサリーショップの出店、全国販売に向けたアクセサリーの商品化を行い、企画、制作、販売能力を育成する。ゼミ活動を通して、様々なファッションシーンを体得することでファッション感覚を磨き、楽しみながらファッションセンスを向上させる。（③に相当する）また、プロジェクト活動の場面で建学の四大精神を実践し、社会人基礎力を発揮し、これまで獲得してきた知識を活用して、課題解決に結びつけ、自らの可能性を伸ばしていく。（④⑤⑥に相当する）

学修内容	到達目標
① ファッション業界（アパレル、ブライダル、美容）について動向を捉え、トレンドを分析する。 ② プロジェクト①全国販売されるアクセサリーの商品化を目指し、産学連携活動に取り組む。 ③ プロジェクト②学外、大学祭において、アクセサリーショップを出店し、商品を企画、制作、販売する。 ④ プロジェクト③地域の方を対象にアクセサリー制作の講座を開催し、魅力を発信する。 ⑤ プロジェクト④ファッションショーにて、ゼミ活動の成果を発表する。	① ファッション業界の流通のながれやトレンド傾向を知ることで現状を捉え、自ら発信することができる。DP③ ② これまでに獲得したスキルを活かして、市場で売れるアクセサリーをデザインし企業側に提案することができる。DP④⑤⑥ ③ これまでに獲得したスキルを活かして、企画力、制作、販売スキル発揮し、ショップを運営することができる。DP④ ④ 地域の方を対象とした講座を実施し、もの作りの楽しさ、アクセサリーの魅力を発信することができる。DP③④ ⑤ これまでに獲得したスキルを活かして、ファッションシーンに適したスタイルをデザイン、製作し、トータルファッション提案ができる。DP③④⑤⑥

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	ファッショントレンド情報を積極的にキャッチし、ファッション業界の商品のながれや動向を捉える。
	働きかけ力	
	実行力	ファッションプロジェクトをチームで協力して進め、実行することができる。
考え抜く力	課題発見力	ファッションプロジェクトを進める中で、目標を達成するための問題点を考えながら取り組む。
	計画力	ファッションプロジェクトを進める中で、達成目標に対してスケージュールを計画し、途中で点検しながら実行する。
	創造力	自分の好きなファッションだけでなく、様々なファッションスタイルを通して、新しい発想のもとアイデアを提案する。
チームで働く力	発信力	ファッショントレンドをとらえ、分析し、シーンに合わせた提案ができる。
	傾聴力	チーム活動では、周りの人の意見を十分に聞きながら行動する。
	柔軟性	チーム活動では、お互いに思いやり、意見の相違があった場合でも理解し合って進めていく。
	情況把握力	
	規律性	遅刻無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし　教員作成の資料により進める。
参考文献：MODE et MODE

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ファッションコーディネート演習、ファッションアクセサリーズ、ショッププロデュース、アパレルＣＡＤ
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
普段からファッションに興味を持ち、様々なメディアを通して情報に触れよう。また、ファッション販売の現場にも出向き、トレンドを捉え、消費者の動向を観察しよう。	ゼミ活動を通して、ゼミ生相互の親睦をはかり、協調性を身につけ、お互いに成長できるように、目標に向かって努力しよう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			・全国販売するアクセサリーの商品化を目指して、商品の企画、プレゼンテーションを行う。 ➢PPによるプレゼンテーションでは、商品のポイントをわかりやすく、魅力的に発信することができているかを評価する。これまで学んできた知識を活用して、新しい商品の提案を行うために、想定される課題の解決方法を含める。 ・アクセサリー作品を制作し、販売する。 ➢ファッショントレンドをとらえ、季節、スタイルに合った作品を評価する。 細部にわたって、丁寧に制作できているかを確認する。 制作したアクセサリーは１点１点仕上がりを教員が確認する。不備な点は修正する。 ・ファッションショーで作品を発表する。 ➢ファッショントレンドを反映し、自己表現としてオリジナリティ溢れたファッションスタイルを評価する。 ➢2年間の集大成として、これまで獲得した知識を活用し、自分の作品（課題）を創り上げる能力を養い、テーマを表現した作品を発表する。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）ファッショントレンド情報を積極的にとらえ活かされているかを作品（アクセサリー、衣裳）で評価する。 （実行力）チームで協力して進めることができているか、報告書より評価する。 （課題発見力）目標を達成するための問題点を考えながら取り組むことができたかを報告書より評価する。 （計画力）達成目標に対してスケージュールを途中で点検しながら実行できたかを判断する。 （創造力）様々なファッションスタイルに刺激を受け、新しい発想のもとアイデアが提案できたを作品により評価する。 （発信力）チーム活動では自分の意見をわかりやすく伝えることができたか、活動状況を通して評価する。 （傾聴力）チーム活動では、周りの意見をしっかりと聞きながら行動できたか、活動状況を通して評価する。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる　欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
Ａ：ファッションプロジェクトに対して、積極的に取り組み、チーム全体で成果を上げ、社会人基礎力の能力を実践できた。ファッションに関わることで、ファッションセンスが磨かれ、様々シーンのファッション提案ができる。 Ｓ：上記に加え、チーム全体に働きかけ、自己の成長ぶりが作品に成果として表現できている。	Ｂ：ファッションプロジェクトを理解し、チームで協力して実施することができた。ファッションを通して、自己表現することができる。 Ｃ：上記の基準に対して、プロジェクト活動は取り組んでいたが前向きな努力が見られない。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業の進め方について ゼミ活動についての取り組み方の説明、役割分担を行う。 メンバーの自己紹介を行う。	講義、演習 ゼミの概要を説明し、今後の進め方について話し合う。	ゼミの目標を理解し、ゼミの概要を捉え、役割分担することができる。	（予習）シラバスを読み、前期の内容をとらえる。 （復習）ゼミ活動での個人目標を設定する。	60	発信力 傾聴力
2	ファッション業界の概要について 就職を意識して、ファッション業界（アパレル、美容等）の現状を解説する。	演習 ＰＰによる業界の説明後、ＰＣ活用により業界の概要、会社の実態などの情報を収集し、プリントにまとめる。	ファッション業界研究を行い、就職に活用することができる。	（予習）ファッション業界の会社を調べる。 （復習）進路に合わせた業界の動向を調べる。	60	主体性 課題発見力
3	トレンド情報分析について 今季のトレンドについて、カラー、素材、デザインの面から解説する。	演習 ＰＰによる今季のトレンド解説後、ＰＣ活用によりデザイナーの作品情報を収集し、プリントにまとめる。課題は提出後、点検しフィードバックする。	今季のトレンドについてコレクション映像やインターネットより情報を収集することができる。	（予習）今季のトレンドをネットで検索する。 （復習）授業の内容をファッション雑誌で振り返りまとめる。	60	主体性 実行力
4	ファッションアクセサリー制作① 金具（ピン、カン）の種類を知り、工具による基本操作を習得し、金具を使ったアクセサリーを制作する。	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	金具を使用したアクセサリーが制作できる。	（予習）アクセサリー制作用の金具の種類を調べる。 （復習）制作した作品のコーディネートを考え着装する	60	主体性 実行力
5	ファッションアクセサリー制作② ラインストーン、パテを使ったジュエルデコレを制作する。	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	ジュエルデコレ仕様のアクセサリーが制作できる。	（予習）ラインストーンのアクセサリーを調べる。 （復習）制作した作品のコーディネートを考え着装する。	60	主体性 実行力
6	ファッションアクセサリー制作③ レジンを活用したアクセサリーを制作する。	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	レジンを使ったアクセサリーが制作できる。	（予習）レジン仕様のアクセサリーを調べる。 （復習）制作した作品のコーディネートを考え、着装する。	60	主体性 実行力
7	アクセサリー産学連携企画① 全国販売を目指したアクセサリーを企画する。連携先の企業から業界の動向を学び、新しい提案を行うためにトレンドを活かしたデザインワークを行う。	演習、グループワーク 企画する作品のデザインをＰＣを活用して考え、グループ内で発表し意見交換する。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性のあるアクセサリーを企画することができる。	（予習）アクセサリーの売れ筋商品を調べる。 （復習）企画したアクセサリーの作り方を考える。	60	創造力 発信力
8	アクセサリー産学連携企画② 全国販売を目指したアクセサリーを制作する。	演習 企画する作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性のあるアクセサリーを制作することができる。	（予習）アクセサリーの制作方法を調べる。 （復習）企画したアクセサリーを完成させる。	60	実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	アクセサリー産学連携企画③ 全国販売を目指したアクセサリーの中間発表会を行う。提案作品に対して企業側からアドバイスを受ける。	発表 企画する作品を連携先企業に対して、中間発表する。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性を持ったアクセサリーを提案することができる。	（予習）発表練習をする。 （復習）指摘された課題に対して、修正案を検討する。	60	実行力 課題発見力 発信力
10	ファッションビジネスプロジェクト①（アクセサリーショップ） ネックレスアイテムのデザインをＰＣを活用して情報収集して考え、制作する。	演習、討議（ディスカッション） 教員説明後、チーム活動で販売する商品を検討する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品（ネックレス）制作ができる。	（予習）ネックレスの制作の内容を考える。 （復習）アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
11	ファッションビジネスプロジェクト②（アクセサリーショップ） イヤリングアイテムのデザインをＰＣを活用して情報収集して考え、制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品（イヤリング）制作ができる。	（予習）イヤリングの制作の内容を考える。 （復習）アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
12	ファッションビジネスプロジェクト③（アクセサリーショップ） ピアスアイテムのデザインをＰＣを活用して情報収集して考え、制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品（ピアス）制作ができる。	（予習）ピアスの制作の内容を考える。 （復習）アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
13	ファッションビジネスプロジェクト④（アクセサリーショップ） ブレスレットアイテムのデザインをＰＣを活用して情報収集して考え、制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品（ブレスレット）制作ができる。	（予習）ブレスレットの制作の内容を考える。 （復習）アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
14	ファッションビジネスプロジェクト⑤（アクセサリーショップ） ヘアアイテムのデザインをＰＣを活用して情報収集して考え、制作する。	演習、グループワーク 教員説明後、チーム活動商品を制作する。商品は教員が点検し、フィードバックする。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品（ヘア用）制作ができる。	（予習）ヘアアクセサリーの制作の内容を考える。 （復習）アクセサリー制作と修正を行う。	60	主体性 実行力 創造力
15	アクセサリー産学連携企画④ 全国販売を目指したアクセサリーの発表会を行う。制作スキルを活用した新しい商品提案をわかりやすく伝え、発信する。	オンラインにて作品発表（オンデマンド） 企画内容の画像をGoogleclassroomにアップし、クラス全体で内容を共有し、講評する。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性を持ったアクセサリーを提案することができる。	（予習）提案するアクセサリー画像を撮影し、アップする。 （復習）発表について、講評と感想をまとめる	60	課題発見力 発信力 規律性
16・17	研修旅行企画、学外見学 学外活動を通して、ファッション現場をとらえる。	演習（学外見学） 研修旅行を実施 研修先-アパレルメーカー、化粧品メーカー、コスチュームサロン、コレクション見学	ファッション関係の研修を通して業界の現状を理解できる。	（予習）見学先での質問を考える。 （復習）見学先の概要と感想をプリントにまとめる。	60	実行力 課題発見力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
18	大学祭出店準備① 商品企画を行う。ブランドコンセプトにそった商品をデザインし、制作する。	実習、討議（ディスカッション） 教員説明後、討議し、役割分担し、商品の制作などの出店準備を行う。ＰＣを活用して情報収集して提案を行う。	店舗ディスプレイの実際を考え、各アイテムを制作できる。	（予習）Ｓｈｏｐを訪問し、ディスプレイ、ＰＯＰを観察する。 （復習）ＰＯＰの修正と制作を行う。	60	主体性 創造力
19～21	大学祭出店準備② 商品制作を行う。ブランドコンセプトに合わせ、習得したスキルを活かして、商品制作を行う。制作にあたり、能率的に制作でき、見映えのする商品作りを考えて実施する。	実習、グループワーク 教員説明後、チーム活動で、販売する商品を制作する。メンバーで役割分担し、チームで協力して進める。完成した商品は教員が点検し、フィードバックする。	商品として販売できるアクセサリーアイテムを制作できる。	（予習）商品の品揃えをまとめる。 （復習）アクセサリー制作と修正を行う。	60	実行力 課題発見力
22	大学祭出店準備③ 商品管理として、価格設定と値札つけを行う。価格設定は、原価計算し、適正価格を考えて設定する。	実習、グループワーク 教員説明後、チーム活動で、販売する商品の価格設定、値札付けを行う。市場で販売、流通している商品価格をＰＣを活用して情報収集して参考にする。	販売商品を制作できる販売商品を制作し、価格設定できる。	（予習）一般小売店舗商品の価格を調べる。 （復習）販売後のアクセサリーの商品管理を行う。	60	主体性 実行力
23	ファッションショー企画 今季のトレンドを活かし、テーマ、制作作品を考える。 ・トレンド分析 ・デザインワーク	演習、討議（ディスカッション） 教員説明後、全体でテーマ、担当を話し合う。ＰＣを活用して情報収集してデザインワークを行う。	ファッションショー実施に向けて、企画案を練り、検討できる。	（予習）コレクションを鑑賞する。 （復習）制作するデザインを考え、制作手順を計画する。	60	主体性 発信力 傾聴力
24～27	ファッションショーアイテム制作 各自作品制作を行う。 ・材料選定 ・裁断、印付け ・縫製 ・仕上げ ・装飾	実習、制作 発表する衣裳を制作実習する。制作途中で教員が点検（フィードバック）しながら、完成させる。	ファッションショー作品を制作できる。（衣裳、アクセサリー）	（予習）本日の作業の確認を行い、制作内容を計画する。 （復習）衣裳制作を進める。	60	主体性 実行力 課題発見力 創造力 規律性
28	ファッションショー準備 ショーの音楽、舞台演出を検討する。作品が映えるための雰囲気作りを考え、演出効果のシミュレーションを行う。	実習、グループワーク ゼミ全体で活動し、ショー演出を行う。	ファッションショーの演出を考え、発表の準備ができる。	（予習）ショーで使用する音楽を探す （復習）コレクションを鑑賞し、フォーメンションを考え練習する。	60	実行力 創造力 発信力
30	ファッションショー作品発表会 学外プロジェクト成果発表会	実習 ファッションショー出演、および学外活動の成果発表を行う。	卒業作品発表会（ファッションショー）でオリジナル作品を発表することができる。	（予習）本番のスタイリングを考える。 （復習）なし	60	実行力 発信力
29	ファッションショー振り返り 成果発表したファッションショーを振り返り、自己の成長を確認する。	演習（オンラインにてファッションショー動画視聴） ファッションショーの動画を視聴して、作品の完成度を確認する。製作過程を振り返り、良い点を評価する。	ファッションショーの作品を視聴し、良い点を評価することができる。	（予習）なし （復習）これまでのゼミ活動を振り返り、成長できた点をまとめる。		課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109K	総合ゼミナール(古橋敬一) Synthetic Seminar	古橋　敬一	✓	基礎	2	必修	2通年

科目の概要

テーマ：「その声を聞いてみる」

　このゼミは、このエリアで暮らし働いている、あるいは皆さんの関心があるテーマに近い仕事をしている人々に対する聞き書きを軸にした活動を展開していきます。聞き書きは、フィールドワークにおける調査手法の一つですが、それ自体に底知れない魅力があります。このゼミでは、その魅力を追究しながら、人の生き方や働き方について、またそれらが統合して生まれる地域社会や文化とは何かを考えていきます。正解は一つではなく、それに主体的に取り組む皆さんの数だけ生まれていくでしょう。
　また、このゼミでは、創立者が教育信条としてうたった潜在能力の無限性を信じ、その潜在能力を可能性の限界まで引きだすことを目指し、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践し、多くの人たちとの交流を通して、社会人基礎力の習得に挑戦します。地域社会の中にある、さまざまな魅力や課題を発見し、それらの活用や課題を考えていく実践していく姿勢が、これからの社会人には求められています。皆さんの中にある潜在的な可能性が大きく開花することを楽しみにしています。
　聞き書きの対象は、さまざまな人々を想定していますが、１つみなさんと共通してやってみたいと考えていることは、ゼミナールの皆さんが、就いてみたい、あるいは興味のある職種の人たちへの仕事インタビューです。これは、皆さんのためにもなるし、その成果はみなさんに続く後輩の方々を始め、いろいろな人々にとっての道しるべになるでしょう。まちづくりのフィールドでの経験から聞き書きの魅力や手法を解説し、皆さんのインタビュー実践をサポートします。
　人を通して社会を知り、そうした社会を考察して自分自身を知る。そんな活動を皆さんとじっくりと歩んでみたいと考えています。このゼミの取り組みは、ディプロマポリシー（以下、DP）の①～⑥に相当します。これらを身に付けるために行います。

学修内容	到達目標
① 聞き書きによる作品を考察する。 ② フィールドワークにおけるインタビューの作法と手法を学ぶ。 ③ インタビュー原稿の書き方を学ぶ。 ④ フィールドワークにおける聞き書きの活かし方を探究する。 ⑤ ゼミナール活動をまとめて発表し、発信する。	① 聞き書きによって制作されたいくつかの作品の意義や価値を理解し、自分なりに説明できる。（DP①④） ② フィールドワークにおいて臆さずインタビューを実施することができる。（DP③） ③ アウトプットのケースに応じ、インタビュー原稿を適切に書き起こすことができる。（DP④⑤） ④ フィールドワークにおける聞き書きの有意義な可能性を示すことができる。（DP②④⑤） ⑤ 資料を作成し、ゼミナール活動を他者にわかりやすく伝えることができる。（DP⑥）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自ら、必要な知識についてさらに深めた理解をするために、参考文献を調査し、自己研鑽ノートを作成できる。時間割内の他の活動にも、積極的に参加できる。
	働きかけ力	障壁を乗り越えるために、他のメンバーや教員に助けを求めることができる。
	実行力	目標を設定して、知識を獲得・活用し、課題解決に向けて最後まで行動し、努力を尽くすことができる。
考え抜く力	課題発見力	問題と課題を混同せずに考えることができる。小さくはじめ、トライ＆エラーを重ねながら、考察の精度をあげる取り組みができる。
	計画力	目標を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し、評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。
	創造力	既成概念や固定観念にとらわれず自由に発想し、他者からの意見も柔軟に取り入れることができる。
チームで働く力	発信力	グループで話し合った結果をまとめ、TPOに合わせて適切なメディアを選んで発表することができる。
	傾聴力	積極的受動性の意味を理解し、人の話を真摯に耳を傾けることができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解しようと努める寛容性を磨き、物腰柔らかに対応することができる。
	情況把握力	メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置や次の展開を考えて行動できる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、ゼミ活動が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォロー課題を行う。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。随時、授業で紹介していく。
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
事前、事後の学習を含め、具体的な事例を用いて解説したり、受講生の体験や意見を求めますので、日々、インターネットや新聞・雑誌等で情報収集に努めて、学習内容を理解するようにして下さい。	講義と文献学習、聞き書きの実践、作品制作、発表といった形式で進めていきます。学生参画型の授業を進めていこうと考えています。主体的な参画をお願いします。きくこと、語ること、読むこと、書くことが比較的多いと思いますが、習熟して行きますので、繰り返し行います。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	50	①	✓			・インタビューした内容が豊かに描かれている。 ・書くことによって思考したことが読み取れる文章になっている。 ・人の所作を描きながら、地域の文化的な風景が読み取れる文章になっている。 ・まちづくりへのヒントが描かれている。 ・他者に伝わる文章が書けている。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓			・pisa型学力 授業で学んだことことをいかして、インタビューができる。また、その成果をまとめたレポートが書ける。レポートを軸に、プレゼンができ、講評をもとに新しいアイデアを発見することができる。 ・プレゼン インタビューの成果をまとめた魅力的なプレゼンをすることができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）　自ら、必要な知識についてさらに理解を深めるための調査研究ができる。ゼミ活動が円滑にすすむための資料を集めることができる。 （働きかけ力）迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けることができる。 （実行力）　目標を設定して、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができている。 （課題発見力）　資料、教科書からわかったこと、自分の体験したことを、客観的に、連動させて考えることができている。 （計画力）目標を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。 （創造力）　課題を考えるとき、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができている。 （発信力）　グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できている。 （傾聴力）　グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができている。 （柔軟性）自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみいだし、活動につなげることができる。 （情況把握力）メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考えで、行動できる。 （規律性）遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動せず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。 （ストレスコントロール力）メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)：①+②+③ A(優)：①+② ①積極的に聞き書きに挑み、オリジナリティのある作品が完成できている。 ②作品のコンセプトやテーマなどが秀逸である。 ③作品の完成度が極めて高く表現にも工夫が見られる。	B(良)：①+②+③ C(可)：①+② ①作品を提出できている。 ②作品が及第点の完成度で達成している。 ③作品の制作過程において周囲を積極的にサポートできていた。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーションに参加し1年間の学修の流れを把握する。 ・自己紹介を通してゼミ生とお互いを知り合うきっかけをつかむ。 ・ゼミの運営方針と進め方について理解する。	講義と演習 ・自己紹介のセッションを通してお互いを知る。 ・ゼミの運営方針と進め方についてレクする。 ・教師と学生が互いに期待していることを共有し、ビジョンを描く。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	ゼミの方針を理解する役割分担に積極的に協力する。	（復習）自分のやりたいことをまとめてレポートにする （予習）配布資料をよく読み込んでミニレポートを書く。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
2・3	・聞き書きの作品解説と議論① 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	（復習）作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 （予習）自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
4・5	・聞き書きの作品解説と議論② 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	（復習）作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 （予習）自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
6・7	・聞き書きの作品解説と議論③ 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	（復習）作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 （予習）自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
8・9	・聞き書きの作品解説と議論④ 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	（復習）作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 （予習）自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10・11	・聞き書きの作品解説と議論⑤ 聞き書き作品の解説を聞いて、内容を理解し、自分の意見を発表しながら議論に参加する。	座学で作品の解説をレクする。 個人ワーク：内容を整理しまとめる。 ペアワーク：お互いの意見交換を行い、自分の意見を推敲する。 全体発表と議論：各位の意見を発表しあって意見交換する。 ・パソコンをつかって、講義コメントをまとめ、googleのシステムを介して、その場で提出したコメントを共有し、ディスカッションを行う。	聞き書きの作品について関心を持ち、他の文献を自分で図書館やインターネットで調べたりできる。	（復習）作品とそれを囲んでの議論の感想をまとめる。 （予習）自分の感想を発表できるように準備する。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
12・13	・聞き書きの実践① 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。	地域の方を現場訪問し、実際のインタビューを行う。 インタビューの書き起こしを行なって文章を完成させる。 ・パソコンを使用し、インタビューをとりまとめる	インタビューを実施し、その文章をまとめることができる	（予習）これまでの授業を振り返り、インタビューの準備をすすめる （復習）文章の書き起こし	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14・15	・聞き書きの実践①の振り返り 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。 ・なお、14週目はオンデマンドで授業を実施する。	完成した原稿を発表し、全体講評を行う。 ・パソコンでスライド資料を発表する ・14週目はオンデマンドとし、パソコンで授業を受ける。	自分の体験を他者へ伝わるように発表することができる。また、他者の発表に対する講評をすることができる。	（予習）発表の準備をすすめる （復習）いただいた講評をもとに成果を校正する	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16・17	・聞き書きの実践② 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。	地域の方を現場訪問し、実際のインタビューを行う。 インタビューの書き起こしを行なって文章を完成させる。 ・パソコンを使用して原稿をまとめる。	インタビューを実施し、その文章をまとめることができる	（予習）これまでの授業を振り返り、インタビューの準備をすすめる （復習）文章の書き起こし	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
18・19	・聞き書きの実践②の振り返り 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。	完成した原稿を発表し、全体講評を行う。 ・パソコンを使用し、スライド資料を発表する。	自分の体験を他者へ伝わるように発表することができる。また、他者の発表に対する講評をすることができる。	（予習）発表の準備をすすめる （復習）いただいた講評をもとに成果を校正する	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
20	・聞き書きの実践③ 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。	地域の方を現場訪問し、実際のインタビューを行う。 インタビューの書き起こしを行なって文章を完成させる。 ・パソコンを使用して原稿をまとめる。	インタビューを実施し、その文章をまとめることができる	（予習）これまでの授業を振り返り、インタビューの準備をすすめる （復習）文章の書き起こし	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
21	・聞き書きの実践③の振り返り 地域の方にインタビューを実施し、文章をまとめる経験から学ぶ。	完成した原稿を発表し、全体講評を行う。 ・パソコンを使用してスライド資料を発表する。	自分の体験を他者へ伝わるように発表することができる。また、他者の発表に対する講評をすることができる。	（予習）発表の準備をすすめる （復習）いただいた講評をもとに成果を校正する	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
22～24	ゼミ発表向けて、チームで、役割分担を決め、進める	各位のプレゼンテーションと講評を振り返り、原稿を推敲し、冊子化の準備を進める。 ・パソコンを使用してプレゼンの準備をすすめる。	各自の分担されたデータ処理し、まとめることができる。	(予習)冊子制作に向けてのアイデアを整理する。（復習）各自の役割分を振り返り、業務を進める。	270	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
25・26	冊子制作 これまでの聞き書きを整理し、作品として冊子に綴じる。	製本の仕方をレクし、各位で製本を実施する。 ・パソコンを使用して台本割をデザインする。	チームで分担し、冊子が制作できる。	（予習)魅力的な冊子のフォーマットを考えてくる。 （復習）チームで分担された資料を作成する。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
27・28	作品をご本人に届け、感想をいただく。	インタビューを実施した方々に作品を届け、読んでもらい。 感想をいただいてくる。いただいた感想は記録し、発表できるものに編集する。 ・パソコンを使用してプレゼン資料を準備する。	インタビューの成果をご本人に戻し、フィードバックがもらえる。	(予習) 制作した作品をご本人にどうやってお渡しするか、段取りをする。 (復習) いただいたフィードバックを編集しまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性
29	ゼミ活動のプレゼンの進捗報告会とし、意見交換を行う。	オンデマンド。ゼミ発表会に向けてのプレゼンの進捗を報告する。 ・パソコンを使用してプレゼン資料を報告する。	具体的な発表行程表が作成でき、実施するための準備ができる。	(予習) 一年間のゼミ活動を発表するための資料を収集作成する （復習）一年間のゼミ活動を振り返る	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
30	・お互いのプレゼンに対する講評をする。	ゼミ活動のプレゼンを行う	お互いのプレゼンに対して、適切な批評と評価がコメントできる。	お互いのプレゼンを振り返って予習しておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109D	総合ゼミナール(村上拓也) Seminar (Digital Contents Design)	村上　拓也			2	必修	2通年

科目の概要

前期は、様々なデザイン制作（WEBサイト・ロゴ・ポスター・チラシなど）に関する知識・技術・デザイン手法を学ぶ。これらはディプロマポリシー②③に相当する。

後期は、各自または各グループで設定したテーマに基づいて作品制作及び研究をするか、官学連携活動または産学連携活動に参加するかを選択する。最後に発表し、フィードバックを得ることでデザインの見識を深め、表現する能力を獲得し、建学の精神・社会人基礎力・pisa 型学力を統合的に身に付けていく。これらはディプロマポリシー①②③④⑤に相当する。

＊以下の官学連携活動は有志による選択制で進める。
・岡崎市役所生涯学習課 連携事業（360度仕掛け絵本の展示）

＊以下の産学連携活動は有志による選択制で進める。
・遊び創造labo 連携企画（企画内容の考案から始める）

（2件の連携活動は7月上旬に開始し、夏季休暇も活動を行い、2024年度内に終了予定。）

学修内容	到達目標
① デザイン制作（WEBサイト・ロゴ・ポスター・チラシなど）の種類や技法を知る。 ② メディア毎に異なるデザイン手法を理解する。 ③ 選択したプロジェクトにおいて、発案からアウトプットまで一通りのプロセスを経験する。	① デザイン制作（WEBサイト・ロゴ・ポスター・チラシなど）の種類や技法を理解することができる。＊ディプロマポリシー②に相当する ② メディア毎に異なるデザイン手法を理解し、説明することができる。＊ディプロマポリシー②に相当する ③ 選択したプロジェクトにおいて、発案からアウトプットまで一通りのプロセスを実施することができる。＊ディプロマポリシー①②③④⑤に相当する

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自らの意志と責任で学習を進め、あらゆる事を自分事として捉えていくことができる。
	働きかけ力	困難があっても先生や友人などに助言を求め、自ら解決に向けて努力できる。
	実行力	頭で考えるだけでなく、実際に行動に移しトライアンドエラーを実践できる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題を解くだけでなく、自ら課題を発見し解決に向けた道筋を立てて行動できる。
	計画力	行動を起こす前にビジョンを明確にし、タスクを細分化したうえで次の行動を決められる。
	創造力	前例や事例をよく調べた上で、新しい視点で既存の枠組みを捉え直すことができる。
チームで働く力	発信力	相手に正しく伝わっているかどうかを確認しながら、適切な方法で発信できる。
	傾聴力	話している言葉の内容だけでなく、意志伝達の際の全体像を汲み取って聴くことができる。
	柔軟性	一度決めた目標であっても、変更の必要性があれば柔軟に対処できる。
	情況把握力	全体のなかで常に現在地を把握することに努め、状況を俯瞰し適切な対応ができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	生活のなかに適度に休む時間を設け、バランスよく学習を進めることができる。

テキスト及び参考文献

使用テキスト及び参考文献は都度、classroomや授業内で紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「Webデザイン」、「CG演習(フォトショップ)」、「CG演習(イラストレーター)」、「デジタル映像演習」、「Webデザイン基礎演習」、「Webデザイン応用演習」、「デジタルマーケティング」、「デジタルコンテンツ」、「デジタル映像演習 」

資格との関連：ウェブデザイン実務士

学修上の助言	受講生とのルール
各自進めていく作品制作では、困ったことがあったら一人で抱え込まず、担当教員含め周りの人に相談してください。不明な点は都度確認してください。	Classroomなどのオンラインツールを使って連絡を行います。作品制作が遅れていたり、解決できない問題などで進まないとき、判断に困ることがあるときなど相談してください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			前期、後期ともに14回目にプレゼンを行う。 前期のリブランディング作品の品質、後期の各プロジェクトの取り組み姿勢、積極性、成果物を総合的に評価する。
				②	✓			
				③	✓			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			(主体性) アプリの使い方を自ら調べながら積極的に作品制作を行うことができる。 (実行力) 何度も修正を繰り返し作品の精度を上げることができる。 (課題発見力) 作品制作のなかで、課題となる点を探し解決へ導くことができる。 (創造力) 前例を調べつつ、新規性を開拓することができる。 (発信力) プレゼンテーションにて適切な手段を用いて、相手に伝わる工夫をすることができる。 (傾聴力) 他者のプレゼンテーションを聴いて、適切に批評を行なうことができる。 (規律性) 遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。
				②	✓			
				③	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)：前期のリブランディング作品について、テーマのコンセプトが的確であり、オリジナリティに富み、かつ極めて完成度が高く表現にも工夫が見られる。後期の各プロジェクトについて、積極的な姿勢が十分にあり、成果物も突出して優れている。 A(優)：前期のリブランディング作品について、完成度が高く表現にも工夫が見られる。後期の各プロジェクトについて、積極的であり、成果物も優れている。	B(良)：前期のリブランディング作品について、完成度が一定の水準に達してはいるが、改善項目が多数存在する。後期の各プロジェクトについて、取り組み姿勢が平均的であり、成果物は可もなく不可もなく、あくまで及第点である。 C(可)：前期のリブランディング作品について、未完成または完成度が著しく低い。後期の各プロジェクトについて、取り組み姿勢が消極的であり、成果物は出ているが、改善事項が多数見られる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	＜前期＞ 各自、自己紹介をして親睦を深める。 1年を通して学びたいことを整理する。 （全週において、情報教室のPCを使用する）	演習と講義 教員の紹介に始まり、1人ずつ自己紹介をする。	デザイン思考やアフォーダンスなどの概念を説明することができる。	（予習）各自、ロゴをリサーチする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
2	企業のリブランディングをテーマに進める。 デザインの基礎知識を習得する。 （デザイン思考やアフォーダンスの概念、ツールを活用したインプット方法など）	演習と講義 Photoshop（またはIllustrator）を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	デザイン制作フローやデザインのプロの現場での注意点などを説明することができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
3	企業のリブランディングをテーマに進める。 デザインの基礎知識を習得する。 （著作権・素材集サイトの使い方）	演習と講義 Photoshop（またはIllustrator）を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	著作権・素材集サイトの使い方を説明することができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
4	企業のリブランディングをテーマに進める。 Photoshopの基礎を習得する。 （基本操作・選択範囲・切り抜き）	演習と講義 Photoshop（またはIllustrator）を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Photoshopでコラージュを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
5	企業のリブランディングをテーマに進める。 Photoshopの基礎を習得する。 （補正・合成・マスクなど）	演習と講義 Photoshop（またはIllustrator）を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Photoshopで画像補正をすることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
6	企業のリブランディングをテーマに進める。 WEBデザインを作る能力を獲得する。 （WEBデザイン事例紹介と制作フロー）	演習と講義 Photoshop（またはIllustrator）を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	WEBデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
7	企業のリブランディングをテーマに進める。 WEBデザインを作る能力を獲得する。 （コンテンツの考え方・ラフスケッチ）	演習と講義 Photoshop（またはIllustrator）を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	WEBデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
8	企業のリブランディングをテーマに進める。 WEBデザインを作る能力を獲得する。 （サイトツリー・デザインカンプ）	演習と講義 Photoshop（またはIllustrator）を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	WEBデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	企業のリブランディングをテーマに進める。 Illustratorの基礎を習得する。 （基本操作・レイアウト）	演習と講義 Photoshop（またはIllustrator）を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Illustratorでレイアウトが出来る。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
10	企業のリブランディングをテーマに進める。 Illustratorの基礎を習得する。 （パス操作・ベジェ曲線・トレース）	演習と講義 Photoshop（またはIllustrator）を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	Illustratorでロゴのトレースが出来る。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
11	企業のリブランディングをテーマに進める。 ロゴデザインを作る能力を獲得する。 （ロゴ事例紹介とロゴ制作フロー）	演習と講義 Photoshop（またはIllustrator）を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	ロゴデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
12	企業のリブランディングをテーマに進める。 ロゴデザインを作る能力を獲得する。 （ロゴのテクニック）	演習と講義 Photoshop（またはIllustrator）を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	ロゴデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
13	企業のリブランディングをテーマに進める。 ポスター・チラシデザインを作る能力を獲得する。 （ポスター・チラシ事例紹介と考え方）	演習と講義 Photoshop（またはIllustrator）を用いてデザイン制作方法を基礎から学ぶ。ある程度、操作可能な学生は各自進める。	ポスター・チラシデザインを作ることができる。	(予習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングを進められるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
14	企業のリブランディングをプレゼンする。	演習と講義 企業のリブランディングをプレゼンし、 フィードバックを聞く。	企業のリブランディングをプレゼンし、 フィードバックを聞いて改善することができる。	(予習)企業のリブランディングのプレゼンができるよう準備する。 (復習)企業のリブランディングのプレゼンができるよう準備する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
15	【オンデマンドによる実施】 ・講評のビデオ配信を視聴して考察する。 ・前期のまとめを行う。	オンデマンド 講評のビデオ配信を視聴して自身の作品を改良する。 前期のまとめを行う。	前期のまとめを行うことができる。	(予習)企業のリブランディングのプレゼンができるよう準備する。 (復習)前期のまとめを行う。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
16	＜後期＞ 各自・各グループでの研究の場合、テーマ決めとコンテンツのコンセプト作りを行い、半年かけて何を研究していくか、準備をする。 産学連携活動に参加するメンバーは、進め方を各班で協議する。 （順次個別面談と相談を予定）	演習と講義 各自の方向性を決め、classroomに研究テーマを発表する。	各自の方向性を決め、classroomに研究テーマを発表できる。	(予習)夏休み中に後期に行いたい研究テーマを決めておく。 (復習)決めた研究テーマに対して準備をしておく。	270	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
17～27	各テーマに沿って研究を進める。	演習と講義 各テーマに沿って研究を進め、都度教員が進捗をチェックする。 見直す必要があれば見直しを行い、期限に間に合うよう自己管理して進める。	各テーマに沿って研究を進めることができる。	(予習)決めた研究テーマに対して準備をしておく。 (復習)決めた研究テーマに対して準備をしておく。	900	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
28・29	1月のゼミナール報告会に向けて準備する。 パワーポイント制作・発表者それぞれの役割で進める。	演習と講義 1月のゼミナール報告会に向けて、パワーポイント制作・発表者を割り振る。 それぞれの役割で進め、プレゼンの練習も授業内で行う。	1月のゼミナール報告会に向けて準備することができる。	(予習)1月のゼミナール報告会に向けて準備をしておく。 (復習)1月のゼミナール報告会に向けて準備をしておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
30	【オンデマンドによる実施】 ・講評のビデオ配信を視聴して考察する。 ・1年間の振り返りと相互評価・まとめを行う。	オンデマンド 1年間の振り返りと相互評価・まとめを行い、フィードバックを得る。	1年間の振り返りと相互評価・まとめを行うことができる。	(予習)1年間の振り返りをしておく。 (復習)1年間の振り返りをしておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109F	総合ゼミナール(山田麻由) Seminar (Computer Skills and Communication Skill)	山田　麻由			2	必修	2通年

科目の概要

Pisa型学力の考え方に基づき、SNS時代における効果的な広報活動のための知識と技術を段階的に修得する。
まず、SNSの特性理解や各種ツールの操作方法の知識・技能の獲得から始める。次に、写真撮影、動画編集、AIツールの活用など、習得した技術を実践的な場面で活用する力を養う。そして、学科の魅力を効果的に発信するという課題に対して、チームで企画・制作・運用を一貫して行うことで、総合的な課題解決力を身につける。
学科行事や授業風景などのコンテンツ制作を通じて、Adobe Premiere ProやスマホアプリAIツールなどの活用方法を習得し（ディプロマ・ポリシー②・③・⑤に相当）、チームでのSNS運用を実践することで、現代のデジタルコミュニケーションスキルを総合的に身につけます（ディプロマ・ポリシー①・④・⑥に相当）。

学修内容	到達目標
① SNSプラットフォームごとの特性と、効果的なコンテンツ展開方法を理解する。 ② 写真・動画の撮影技術と、Adobe Premiere ProやAIツールなど各種制作ツールの活用方法を修得する。 ③ 既存作品を鑑賞し、効果的な表現方法について分析・考察する。 ④ チームでのSNSコンテンツの企画から投稿までの基本的なワークフローを理解する。 ⑤ AIツールを活用したコンテンツ制作の基礎を学ぶ。	① SNSプラットフォームごとの特性と、効果的なコンテンツを展開できる。（ディプロマ・ポリシー②・③に相当） ② 写真・動画の基礎的な撮影技術と、各種制作ツールの基本的な操作を行うことができる。（ディプロマ・ポリシー③に相当） ③ 既存作品を鑑賞し、効果的な表現方法について分析・考察できる。（ディプロマ・ポリシー⑤・⑥に相当） ④ チームでのSNSコンテンツの企画から投稿までの基本的なワークフローに則って進めることができる（ディプロマ・ポリシー①・④に相当） ⑤ AIツールを活用したコンテンツ制作を実践できる。（ディプロマ・ポリシー⑤・⑥に相当）

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	SNSの最新トレンドに関心を持ち、学科の魅力を伝えるための表現として応用しようと努力する。
	働きかけ力	
	実行力	担当する役割を責任を持って遂行し、チームで設定した目標に向かって積極的に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	SNSでの発信において、より効果的な表現方法や改善点を見極め、適切な解決方法を見つけることができる。
	計画力	
	創造力	学科の特徴を活かしたコンテンツを企画し、魅力的な作品として展開することができる。
チームで働く力	発信力	チーム内で情報や課題を適切に共有し、円滑なコンテンツ制作を進めることができる。
	傾聴力	チーム内での意見や提案を注意深く聞き、必要に応じて確認や質問ができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力	

テキスト及び参考文献

テキスト：内容に応じてPDF資料をGoogle Classroomにアップロード

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「デジタル映像演習」、「CG演習(フォトショップ)」、「CG演習(イラストレーター)」
資格との関連：ウェブデザイン実務士

学修上の助言	受講生とのルール
SNSの運用と広報活動を通じて、実践的なコンテンツ制作スキルを身につけていきます。チームでの制作では、それぞれの得意分野を活かしながら、積極的なコミュニケーションを心がけましょう。また、データ分析や改善提案を通じて、より効果的な発信方法を探求していきます。分からないことがあれば、すぐにチームで共有し、解決していきましょう。	円滑にプロジェクトを進めるために、授業開始5分前には着席し、Google Classroom、個人サーバー（B13）へのログイン、アプリケーションの起動などを済ませておいてください。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓			＜前期＞（30点） 学科SNSの運用・管理 ・コンテンツの企画・制作・投稿 ・データ分析に基づく改善提案 ・チームでの情報共有と実践 （評価のポイント） ・SNSの特性を理解した効果的な発信 ・撮影・編集技術の習得度 ・チームへの貢献度 ＜後期＞（60点） 以下の3つの企画から1つを選択して制作 ①学科PR動画（ショート動画形式） ②ゼミ紹介動画（新ゼミ撮影・編集／既存ゼミリニューアル） ③学科イベント・行事のドキュメンタリー （評価のポイント） ・企画力と表現技術の総合的な活用 ・AIツールの効果的な活用 ・チーム内での役割遂行 ・トレンド分析と作品への反映 ・自主的なスキルアップへの取り組み ・日常的な撮影・取材活動
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）SNSの最新トレンドに関心を持ち、学科の魅力を伝えるための表現として応用しようと努力する。 （実行力）担当する役割を責任を持って遂行し、チームで設定した目標に向かって積極的に取り組むことができる。 （課題発見力）SNSでの発信において、より効果的な表現方法や改善点を見極め、適切な解決方法を見つけることができる。 （創造力）学科の特徴を活かしたコンテンツを企画し、魅力的な作品として展開することができる。 （発信力）チーム内で情報や課題を適切に共有し、円滑なコンテンツ制作を進めることができる。 （傾聴力）チーム内での意見や提案を注意深く聞き、必要に応じて確認や質問ができる。 （規律性）遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀) ①制作したコンテンツの完成度が極めて高く、SNSでの効果的な表現が実現できている。 ②企画内容とキャプションが優れており、学科の魅力が効果的に伝わる工夫がある。 ③SNSトレンドを的確に分析し、制作に反映できている。 ④チーム活動に主体的に参加し、積極的に提案・実行できている。 ⑤社会人基礎力の能力要素にある７項目が達成できている。 A(優) 上記①～④に加え、社会人基礎力の能力要素にある7項目のうち【規律性】を含む6項目が達成できている。	B(良) ①担当するコンテンツを期限内に制作・投稿できている。 ②コンテンツの企画に工夫を凝らすことができている。 ③SNSトレンドを理解し、参考にできている。 ④チーム活動に定期的に参加している。 ⑤社会人基礎力の能力要素にある7項目のうち【規律性】を含む5項目が達成できている。 C(可) 上記①～④に加え、社会人基礎力の能力要素にある7項目のうち【規律性】を含む4項目が達成できている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション ・ゼミの進め方、成績評価について ・自己紹介	【講義】 ゼミの進め方、成績評価について 【演習】 自己紹介スライド作成・共有 自由に交流会	ゼミの進め方、成績評価について理解し、オンライン上で自己紹介スライドを作成して共有することができる。	(復習)ゼミメンバーのプロフィールを閲覧する。 (予習)CapCutをスマホにインストールしておく。	90	主体性 働きかけ力 発信力 傾聴力 規律性
2	ワークショップ ・既存の映像作品の音声だけを流し、映像を想像して絵コンテに落とし込む	【講義】 WSの説明、グループ分け 【演習】 チームでワーク後、発表して共有	音声を聞いて映像を想像することができる。作業の際、自分のアイデアを発信することができる。チームメンバーと協力し、最終的に絵コンテを完成させることができる。	(復習)Classroomにアップされた他のグループが作成した絵コンテを確認する。 (予習)CapCutに映像を読み込む方法を調べておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
3	ショート動画編集 ・前回のワークショップを撮影した動画を使用し、チームでCapCutを使用して動画を編集する。	【講義】 ・概要説明 ・撮影素材の確認 ・CapCutの基本操作レクチャー 【演習】 ・チームで方針と構成決め ・素材選定と編集作業	チームで動画の完成形を共有し、CapCutの基本的な操作を行い編集作業に入ることができる。	(復習)方向性・構成シートを再度確認する。 (予習)他のショート動画を視聴し、参考にする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
4	ショート動画 上映・フィードバック	【演習】 ・編集作業・書き出し、アップロード ・各チームの作品を上映 ・ピアレビュー ・魅力的なショート動画とは何か分析	チームで作品を完成させ、動画に書き出し上映することができる。他の作品の良さや特徴を言語化し、伝えることができる。 魅力的なショート動画の特徴を理解することができる。	(復習)他チームの作品を再度鑑賞する。 (予習)各種SNSにアップされている動画を視聴し、傾向を把握する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
5	ミラーレスカメラ撮影演習＜写真編＞ ・各ゼミの授業にお邪魔して撮影する	【講義】 ・ミラーレスカメラの基本操作 ・写真を撮影する際に注意すること ・今回の写真を何に使用するか、どんな目的で撮影するか 【演習】 ・チームで各ゼミの授業風景を撮影 ・撮影後、写真をプレビュー ・チームでディスカッション	ミラーレスカメラの基本操作を理解することができる。撮影した写真を見返し、チームでディスカッションすることができる。	(復習)他チームの写真を確認する。 (予習)次回、撮影でお邪魔するゼミのテーマと内容を確認する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
6	ミラーレスカメラ撮影演習＜動画編＞ ・各ゼミの授業にお邪魔して撮影する	講義】 ・ミラーレスカメラで動画を撮影する方法 ・動画を撮影する際に注意すること ・今回の動画を何に使用するか、どんな目的で撮影するか 【演習】 ・チームで各ゼミの授業風景を撮影 ・撮影後、動画をプレビュー ・チームでディスカッション	ミラーレスカメラで動画を撮影することができる。撮影した動画を見返し、チームでディスカッションすることができる。	(復習)他チームの動画を確認する。 (予習)各種SNSのトレンド傾向を調べておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
7	※オンデマンド講義※ 企画の立て方と発想法を学ぶ	【オンライン講義】 ・企画を立てるための現状分析とトレンド把握 ・アイデア出しの方法 ・チーム分けについて ・チームで協働する時に注意すること	企画を立てるための現状分析やトレンド把握の重要性を理解することができる。アイデア出しの方法を個人で実践することができる。	(復習)配信された動画とPDFを再度確認する。 (予習)各種SNSのトレンド傾向を調べておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
8	ショート動画の企画を考えよう ・チームに分かれ、学科SNSにアップするショート動画の企画を考える	【講義】 ・ターゲットとペルソナ設定 ・企画書のフォーマット確認 【演習】 ・高校生のニーズについてディスカッション ・トレンドリサーチ	学科SNSコンテンツを制作する目的やターゲットを把握することができる。チームで手分けをしてリサーチワークを行い、共有することができる。	(復習)他チームのディスカッション内容を確認する。 (予習)ショート動画の企画を一人3つ考えておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ショート動画の企画を立てよう ・リサーチ結果をもとに、自分たちで具体的な企画を立案する	【講義】 ・アイデア出しのコツ ・企画の進め方 【演習】 ・チームでアイデアを出し合おう ・企画書の作成を進めよう	チームごとにアイデアの決定、企画書・絵コンテの作成を進めることができる。	(予習)企画書、絵コンテ、台本のひな形データを確認する。 (復習)チームでディスカッションした内容を再確認する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
10	ショート動画の企画をブラッシュアップしよう ・ファシリテーターと共に、2つの企画案をブラッシュアップする	【演習】 ・ファシリテーターと共に、2つの企画案をより良くするためのディスカッションをチームで行う ・出てきたアイデアを組み込み、企画書を修正する	チームで企画案をより良くするためのディスカッションを行う際、積極的に発言することができる。修正案を企画書に落とし込むことができる。	(復習)他チームの企画書内容を確認する。 (予習)SNSのトレンドをキャッチアップする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
11-12	ショート動画を撮影する①・② ・企画に基づいて動画撮影を行う	【演習】 ・各チーム企画に基づいて撮影を行う ・撮影した動画をプレビューし、チームでディスカッションする ・再度撮影し、編集に使用する素材を選定する。	チームで企画に基づいて動画を撮影し、プレビューすることができる。 ディスカッションで出てきた改善策を実践し、より良い素材を撮影することができる。	(復習)他チームの進捗報告を確認する。 (予習)ディスカッションして出た意見を確認しておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
13-14	ショート動画を編集する①・② ・構成台本に基づいて編集する	【演習】 ・CapCutを用いて編集を行う ・BGMや効果音の選定を行う ・エフェクトやトランジションを追加する ・動画に書き出す ・キャプションを添えてアップする	チームで役割を分担し、CapCutを用いて編集作業を進めることができる。動画を書き出し、キャプションを添えてアップすることができる。	(復習)他チームの進捗報告・作品を確認する。 (予習)SNS上での見え方を確認し、適宜キャプションを修正する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
15	鑑賞・ピアレビュー	【講義】 【演習】 ・チームごとに作品プレゼン・上映 ・ピアレビュー ・前期の振り返り	自分たちの作品のテーマや目的を発表することができる。他チームの作品の良い点や特徴を言語化し、伝えることができる。前期の活動を振り返って言語化することができる。	(復習)他チームの作品を再鑑賞する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
16	後期イントロダクション ・ゼミの進め方について ・後期プロジェクト参加希望確認 ・学泉祭について	【講義】 ・ゼミの進め方について、スケジュール ・後期プロジェクト概要 ・学泉祭でのブース出店についてについて 【演習】 ・後期プロジェクトチーム分け ・学泉祭役割分担	後期プロジェクトや学泉祭の活動概要を確認することができる。	(復習)Classroomにアップされた『後期プロジェクトについて』資料を読んでおく。 (予習)前年度の学泉祭の様子を確認しておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
17-20	学泉祭 企画～準備～制作	【演習】 ・企画ごとのチームに分かれる ・チームで企画～準備～制作 ・学泉祭当日の役割分担	チームで企画～準備～制作を行うことができる。当日も与えられた役割を全うできる。	(復習)振り返りフォームに活動報告を記入する。 (予習)チームで共有された資料を読んでおく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
21-27	後期プロジェクトの企画・撮影・編集 ①学科PR動画（ショート動画形式） ②他ゼミとのコラボ動画 ③学科イベント・行事の撮影・SNS運営	【演習】 ・3つのプロジェクトで希望のチームに分かれる ・チームで企画～準備～制作	チームで企画～準備～制作を行い、作品を完成させることができる。	(復習)Classroomに配信された資料を再度確認する。 (予習)チームで共有された資料を読んでおく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
28	ゼミ活動報告 原稿作成	【講義】 【演習】 ・代表発表者決定 ・代表者は前期活動についてまとめる ・後期、各チームの活動報告作成→提出 ・発表原稿作成	1年間の活動を振り返り、報告書を作成・提出できる。	(復習)他チームの活動報告を確認する。 (予習)チームで共有された資料を読んでおく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
29	※オンデマンド講義※ ゼミ活動報告 原稿・スライド作成	【オンデマンド形式】 ・ゼミ活動報告原稿作成 ・スライド作成 ・完成、提出	担当分の原稿とスライドを作成し、完成させて提出できる。	(復習)他のメンバーが作成した原稿とスライドを確認する。 (予習)完成した台本とスライドを参照しながら練習する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力
30	ゼミ発表会を終えて、1年間の総まとめ・振り返り	【講義】 【演習】 ・後期プロジェクト作品の講評 ・1年間の総評 ・振り返りシート記入、提出	ピアレビューを行い、振り返りシートを記入し、提出することができる。	(復習)全員分の振り返りシートを確認する。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ｽﾄﾚｽｺﾝﾄﾛｰﾙ力